

令和 5 年度
松本市社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人 松本市社会福祉協議会



目次

令和5年度 松本市社会福祉協議会 事業報告総括	1～2
1 法人運営	
理事会・評議員会・監査	3～4
「サステイナブル社協」推進プロジェクト ほか	5
2 地域福祉の推進	
地域福祉活動の推進	6～10
ボランティアセンター活動の推進	11～16
福祉啓発活動	17
高齢者福祉事業	18～20
児童福祉事業	21～22
3 暮らしの支援と権利擁護	
生活支援体制整備事業	23
地域包括支援センター事業	23～24
自立支援事業	25
生活就労支援センター事業（まいさぼ松本）	25～26
成年後見支援センター事業	26～28
有償生活支援事業「つむぎちゃんサポート」	29
高齢者・障害者等への生活福祉関連事業	30～31
4 介護サービスの提供	
介護保険事業	32～35
5 障害者福祉の推進	
障害者在宅支援事業	36
児童発達支援事業（しいのみ学園）	37～38
障害者地域活動支援事業（心身障害者福祉センター）	39～40
就労継続支援事業	
希望の家	41～44
岡田希望の家	44～47

障がい者就労センター・はた	47～50
南ふれあいホーム	50～52
北ふれあいホーム	53～55
共同生活援助事業（グループホーム井川城／グループホーム水汲）	56～58
6 施設の管理運営	
総合社会福祉センター・梓川福祉センター・北部福祉複合施設	59
7 団体の運営・活動支援	
共同募金・日赤事業の推進	60
福祉団体の支援並びに連携	60
附属資料	61～75

令和5年度 松本市社会福祉協議会 事業報告総括

本年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行し、社会経済活動はコロナ禍前の状況に戻りました。本会においても地域での集いの場を再開するなど、平常どおりに事業が実施できるようになりましたが、介護・障害・児童福祉施設では、引き続き感染対策に注力しながら通常運営に努める一年となりました。

法人運営上の大きな課題となっている経営改善については、新たにプロジェクトチームを編成し、本会のすべての事業について費用対効果を検証したうえで、6年度以降に実行すべき対策を盛り込んだ経営安定化計画の策定に取り組みました。

地域福祉推進事業では、令和3年度からの5ヵ年計画である第4期松本市地域福祉活動計画の中間年度として目標の達成状況を評価し、後半の推進にあたって必要な見直しを行いました。また、令和3年度から各地区で開催してきた「地域福祉懇談会」について、本年度は未実施の6地区で開催し、市内全35地区での開催が完了しました。

ボランティアセンター事業では、ボランティアの活動希望や依頼がコロナ禍前の状況に戻りつつあり、各種講座や集会を開催しました。災害ボランティアセンター設置・運営訓練においては、支援が必要なエリアへボランティアを実際にバス輸送する訓練を行いました。また、新たに子育て応援や、ボランティアセンターの活性化を狙った企画を始めました。

高齢者福祉事業では、プラチナ世代の生きがい・仲間づくりを目的とした大学・講座を受講した方が、地域や児童センターに活動を広げるための取組みを進めました。

児童福祉事業では、児童センター・放課後児童クラブの利用児童が増加する中で、職員の確保や施設の狭あい化が課題となりましたが、地域の協力を得ながら児童の安全・安心な居場所となるよう運営を行いました。

生活福祉事業では、地区生活支援員が、地区独自の互助組織や本会が運営する「つむぎちゃんサポート事業」に調整役として関わりながら、住民が主体となって推進する生活支援体制づくりを強化しました。

また、コロナ禍の特例貸付実施から顕在化した地域の困窮課題に対応するため、生活相談支援体制強化事業の取組みを開始し、課を超えた相談体制強化に向け組織内連携体制を構築しました。また、判断能力の低下した方が自立した日常生活を送るための支援や失業者への就労支援など、行政や専門職と連携し、困りごとの早期発見と相談支援を行いました。成年後見支援事業では、成年後見制度利用促進法に基づく中核機関の業務を一部受託し、さらなる制度の利用促進に取り組んでいるほか、法人後見の受任、市民後見人の養成に取り組みました。

介護保険事業においては、新型コロナウイルス感染者の減少や、感染対策の経常化により休業や利用控えは減少しましたが、その影響は未だ解消されたとはいえない状況があります。このため、令和5年度は、通所介護事業における利用人数に応じた事業規模の変更や、資格保有者の配置見直しによる上位加算の取得等に取り組みました。また、各事業所で利用回数や稼働時間、報酬等の目標値を設定したうえで、目標達成に向けて毎月の実績を分析・評価し、その結果をサービス事業ごとの経営戦略会議で共有して全事業所でサービスの向上と経営改善を推進しました。

障害者支援事業においては、特に就労継続支援B型事業所で、利用者の通所モチベーションアップへの取組み、新たな加算の獲得等により、作業収入及び運営費収入が増加しました。10月に開催した松本市総合社会福祉センター開館40周年記念イベントでは、多くの来場者があり、コロナ禍前の賑わいが戻ってきました。

また、法令に基づく虐待防止の取組みを進めるため、施設職員全員による事例検討等を行い、さらに本会の障害者支援方針に基づき、一人ひとりの個性を尊重したサービスの提供と地域に開かれた施設運営を行うため、職員の資質向上に向けた研修を実施しました。

1 法人運営

❖ 理事会・評議員会・監査等

(1) 理事会の開催

6月7日（第337回）

- ・松本市社会福祉協議会 役員候補者の推薦について
- ・令和4年度松本市社会福祉協議会 事業報告について
- ・令和4年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収支決算について
- ・第221回松本市社会福祉協議会 評議員会の招集について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について

6月23日（第338回）

- ・松本市社会福祉協議会 会長、副会長及び常務理事の選定について
- ・松本市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦について
- ・松本市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・第12回松本市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・令和5年度松本市社会福祉大会 被表彰候補者の審査について

10月25日（第339回）

- ・令和5年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第1回補正予算について
- ・第222回松本市社会福祉協議会評議員会の招集について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について
- ・介護保険事業及び障害者支援事業の収支状況について
- ・地域福祉懇談会の開催結果について
- ・人事制度改革の進捗状況等について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の応募について

3月6日（第340回）

- ・社会福祉法人松本市社会福祉協議会定款の一部変更について
- ・「くらしの資金」貸付金の欠損処分について
- ・イラスト無断使用による損害賠償の示談について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第2回補正予算について
- ・令和6年度松本市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和6年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収支予算について
- ・松本市社会福祉協議会役員及び評議員の報酬等に関する規程の改正について
- ・松本市社会福祉協議会 理事候補者の推薦について
- ・松本市社会福祉協議会 苦情解決第三者委員の選任について
- ・第223回松本市社会福祉協議会評議員会の招集について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の指定申請結果について
- ・松本市社会福祉協議会 経営安定化計画(暫定版)の策定について
- ・松本市社協ガイドブックの発行について
- ・職員懲戒処分の実施について

(2) 評議員会の開催

6月23日（第221回・定時評議員会）

- ・松本市社会福祉協議会役員（理事）の選任について
- ・松本市社会福祉協議会役員（監事）の選任について
- ・令和4年度松本市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和4年度松本市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について

11月6日（第222回）

- ・令和5年度 松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第1回補正予算について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について
- ・介護保険事業及び障害者支援事業の収支状況について
- ・地域福祉懇談会の開催結果について
- ・人事制度改革の進捗状況等について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の応募について

3月18日（第223回）

- ・社会福祉法人松本市社会福祉協議会定款の一部変更について
- ・「くらしの資金」貸付金の欠損処分について
- ・イラスト無断使用による損害賠償の示談について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第2回補正予算について
- ・令和6年度松本市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和6年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収支予算について
- ・松本市社会福祉協議会役員及び評議員の報酬等に関する規程の改正について
- ・松本市社会福祉協議会理事の選任について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の指定申請結果について
- ・松本市社会福祉協議会 経営安定化計画(暫定版)の策定について
- ・松本市社協ガイドブックの発行について

(3) 監査

5月26日に令和4年度の事業執行状況、計算関係書類及び財産状況の監査を受け、いずれも適正であることが認められました。

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

6月23日（第12回） 評議員（6名）の選任について

(5) 令和5年度役員及び評議員報酬

（理事10名、監事3名、評議員13名）

会 長（非常勤）	月 100,000 円
常務理事（常勤・事務局長兼任）	月 50,000 円
理 事（非常勤）	報酬支給額 計 168,000 円（日額 7,000 円）
監 事（非常勤）	報酬支給額 計 98,000 円（日額 7,000 円）
評 議 員（非常勤）	報酬支給額 計 217,000 円（日額 7,000 円）

❖ 「サステイナブル社協」推進プロジェクト

持続可能な組織を構築するため、令和3年度から進めてきた人事制度改革に、経営の安定化を加えた新たなプロジェクト会議を設置し、法人全体で協議を進めました。

策定した経営安定化計画（暫定版）のうち、着手できるものについては令和6年度の事業計画に反映しました。

- 8月 4日 「サステイナブル社協」推進プロジェクト会議の設置
以降4回のプロジェクト会議（全体会議）を開催
- 8月18日 ・経営安定化チーム第1回会議開催
以降、計4回のチーム会議を開催
- ・人事・給与制度チーム第1回会議開催
以降、計7回のチーム会議を開催
- 12月 4日 事務局会議（課長以上の経営会議）へ計画案を報告
- 3月 6日 経営安定化計画（暫定版）を理事会へ報告
- 3月18日 経営安定化計画（暫定版）を評議員会へ報告

❖ 松本市社協ガイドブックの発行

地域福祉懇談会等における市民及び関係者から情報発信の必要性に関する意見を受けたため、職員有志のワーキングチームを立ち上げ、市民の困りごとの相談先や社協事業の案内をまとめた総合ガイドブックを制作しました。

- ・A4版、フルカラー28ページ
- ・令和6年3月出稿、同年4月発行予定。初版3,000部
- ・配布及び配信方法は、理事会及び評議員会の意見を受けて検討中。福祉関係者及び行政機関へ配布するほか、ホームページ等への掲載を予定。増刷を計画

❖ 業務継続計画の策定

介護・障害福祉サービス事業所の業務継続計画（BCP）の策定等が令和6年4月から義務化されることに合わせて、自然災害及び感染症拡大が発生した場合の対応・対策について計画を策定しました。

- ・計画の策定単位：1法人、5課、51事業所

❖ 苦情等の対応

事業実施において発生した苦情等に対応するため、苦情解決システムを設置し早期の解決を図りました。

(1) 苦情解決システム

- 苦情解決第三者委員 3名
- 苦情解決責任者 1名
- 苦情解決責任者補佐 10名
- 苦情受付担当者 11名

(2) 苦情対応件数

- 令和5年度苦情受付件数 9件 (附属資料 3)

(3) 苦情解決第三者委員会の開催

- 6月21日 苦情解決第三者委員3名、役職員8名出席

2 地域福祉の推進

❖ 地域福祉活動の推進

(1) 第4期松本市地域福祉活動計画の推進

第4期松本市地域福祉活動計画について、地区担当職員と地区生活支援員が地域の主体的な取組みを支援しました。また、中間年度の見直しを行いました。

取組みの柱	取 組 み
豊かな心の 人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや担い手の育成を目的として、地域デビュー講座を開催しました。 全4回の講座 延べ参加者数 135名 ・つむぎちゃん講座の開催 地域の集いの場や行事において、社協事業に関することや、福祉・ボランティアについて、身近なテーマで地区担当職員が出前講座を行いました。 実施回数 103回 参加者数 1,898名 ・社協つむぎちゃん劇団による、特殊詐欺被害防止など防犯意識の啓発を行いました。 劇団員数 本所：11人、四賀地区：7人 練習回数 本所：21回、四賀地区：12回 公演回数 本所：17回、四賀地区：21回
ささえあいの まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいいいききサロン等、地域の集いの場づくりに対し、費用の助成、企画・運営の助言等を行いました。 支援件数 349件 ・生活支援体制整備事業（つむぎちゃんサポート事業） 登録時説明会（全市対象） 2回 協力会員スキルアップ研修（全市対象） 4回 地区への出前説明会 9回
地域と人の つながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り安心ネットワーク事業として、地区・町会等に対し、「ささえあいマップ」づくりについて、必要性の説明や取組方法の助言等を行いました。 説明会等の働きかけを行った回数 20回 「ささえあいマップ」の取組みを行っている町会数 15地区85町会

(2) 見守り安心ネットワーク事業

「ささえあいマップ作成事業※」を進めるために、「ささえあいマップ作成支援パンフレット」を用いて地域で説明を行い、取組みを希望する地域へ作成・更新の支援を行いました。

※ささえあいマップ作成事業：地域の情報（避難所や消火栓がどこにあるのか、危険箇所はどこか、支援を必要とする人がどこに住んでいるのか、支援ができる人がいるのか等）を住民間で共有するための地図（ささえあいマップ）の作成を常会・隣組等の小地域で考え、話し合うことで、地域の見守りささえあい体制づくりを目的とする事業

(3) 地域デビュー講座の開催

ア 開催日・内容

11月 1日 第1回「私に眠っている力って？活かせる場所があるよ！」

11月20日 第2回「子どもとの交流～子どもの声を聞いてみよう～」

11月29日 第3回「地域で活動するには？

～活動者の声を聞いてみよう～」

12月 6日 第4回「気軽に、楽しく地域にデビューしよう！

～一歩を踏み出そう～」

イ 会場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

ウ 延べ参加者数 135人

(4) 特殊詐欺防止対策

被害が後を絶たない高齢者を狙った新たな特殊詐欺被害防止への注意喚起のため、松本警察署と協力して地域でのサロン等集いの場において直接住民へ講話を行いました。

松本警察署員による各地区、町会等のサロン等集いの場での講話

実施回数 8回 延べ対象者 280人

(5) 地区社協及び町会福祉活動の推進・支援

ア 地区社協活動への助成

35地区社協の活動費として、世帯会費22,827,840円のうち3割にあたる6,848,352円を還元助成しました。

イ つむぎちゃんプラン助成金事業 (附属資料 4)

各地区社協や町会などが行う地域福祉活動に対し、地域の実情に合わせたメニュー方式による助成金を交付しました。

35地区 240件 17,834,945円

ウ 敬老の日行事費の助成（松本市補助事業）

地区社協等が実施する敬老の日行事に要する行事費を助成しました。

75歳以上高齢者41,190人分 28,833,000円

エ ふれあい会食会事業への助成（松本市補助事業）

地区社協が行う一人暮らし高齢者及び高齢者夫婦等を対象にした、ふれあい会食会の賄材料費等を助成しました。

35地区 6,939,000円

オ 町会児童遊園整備事業

町会が行う児童遊園遊具の補修等へ助成金を交付しました。

9件 251,350円

カ 地域福祉事業説明会

本会の地域福祉事業について理解を深め、補助事業等を有効に活用して地域福祉活動を推進していただくため、地区社協会長等を対象に説明会を開催しました。

日時 令和5年4月24日(月) 10:30～

会場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

(6) 一人暮らし高齢者活動支援事業

生きがいと健康づくり、心身のリフレッシュを目的に、一人暮らし高齢者に対し交流の場を提供しました。

(四賀地区) いきいきサロン事業 年間128回実施

(四賀地区) ささえあいサロンぷくぷくの家 年間利用者延べ713人

(波田地区) デイホーム事業 年206回実施

(梓川地区) 地域活動協力事業 28町会

(7) 結婚推進事業の実施

結婚を希望する男女へ出会いの機会として同年代や同趣味など、特定の項目を対象とした出会いのイベントを企画・開催し、成婚に向けた支援を行いました。

ア 第1回

・日時 令和5年10月1日(日)

・場所 梓水苑

・内容 婚活&バーベキュー～みんなで waiwai 盛り上がり～

・参加者 29人(内訳:男性15人 女性14人)

イ 第2回

・日時 令和6年2月18日(日)

・場所 マンマ・ミーア

・内容 楽しい!からはじまる婚活

ミニゲームと美味しいランチを楽しもう

・参加者 20人(内訳:男性10人 女性10人)

(8) 松本ブロック社会福祉協議会

ア 目的

松本ブロック内の3市5村(松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村)の社協の相互協力及び情報共有を図るための会議、研修等を開催しました。(※ 令和5年度幹事社協:松本市)

イ 会議

(ア) 事務局長会議 1回

(イ) 担当者連絡会議 2回

(ウ) ボランティア担当者会議 5回

(エ) 地域福祉と権利擁護担当者会議 1回

(オ) 介護保険事業者等担当者会議 2回

ウ 研修会・交流会

(ア) 社協職員研修会

地域での重層的で多様な課題がある家庭等への社協職員としての対応

(イ) 職員防災研修会

社協の総合力で災害に備える ～地域との平時からのつながり～

エ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練時に、松本ブロック社協相互応援協定に基づき松本ブロック社協間の情報伝達訓練を行いました。

実施日 令和5年8月27日(日)

(9) 西部地区センター事業(地域福祉担当)

ア 高齢者サポーター養成講座

支援者の少ない西部地域での生活支援体制整備のため、「高齢者等を支える」ために必要な知識を学ぶ講座を下記のとおり開催しました。

(ア) 講座回数 5回

・ 8月24日(木) 地域のつながりと支える活動って？

・ 9月14日(木) 傾聴的な接し方のコツ

・ 9月28日(木) お年寄りの現実

・ 10月12日(木) 活動の事例と活動者の声

・ 10月27日(金) 実技！車いす体験と介護予防体操

(イ) 参加者 延べ205人

イ 奈川地区見守り支援ネットワーク

人口の減少、少子・高齢化が進行する奈川地区において、住み慣れた地域で安心・安全に生きいきと暮らしていくことができるよう、民生児童委員が月に1回程度の訪問活動を行いました。

(ア) 協力 奈川地区民児協、奥原商店

(イ) 実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(ウ) 対象地域 奈川地区全域

(エ) 該当世帯 26世帯(ひとり暮らし高齢者世帯、見守りが必要な世帯)

(オ) 実施希望世帯 12世帯 12人

(カ) 訪問実施回数 152回

ウ 生活支援・生きがいづくり等

【安曇地区】園芸療法ボランティア(2回) 参加者延べ 20人

合唱・演奏ボランティア(3回) 参加者延べ 25人

【奈川地区】ふれあい会食会・配食サービス〈安否確認〉・花いっぱい事業

参加者延べ 95人

【梓川地区】送迎ボランティア

利用者10人 ボランティア6人 送迎回数 74回

(10) 四賀地区センター事業（地域福祉担当）

地域住民と関係機関とが連携を図り、住み慣れた四賀の地で、だれもが健康で支え合い、幸せに暮らすことのできる地域づくりをめざして事業を進めました。

ア 第18回四賀地区福祉の集い

「居場所の魅力」をテーマに、四賀地区内で誰もが気軽に集える場所をいくつか紹介し、子どもからお年寄りが「集い・話し・笑う」ことの大切さを伝えました。

- ・期 日 令和5年6月17日（土）
- ・場 所 市役所四賀支所ピナスホール
- ・参加者 211人

イ ボランティア感謝祭

四賀地区ボランティア会員のみなさんの日々の活動に感謝をし、年に1回、一同に会して親睦を深め、昼食はお弁当での会食会を楽しみました。

- ・期 日 令和5年11月10日（金）
- ・場 所 市役所四賀支所ピナスホール
- ・参加者 102人

ウ いきいきサロン・えんがわ隊・ささえあい事業・農場農園作業・園芸講座等
参加者延べ 1,300人

(11) 北部地区センター事業（地域福祉担当）

地域住民組織が主催する事業と連携して、安心・安全なまちづくりを推進しました。

ア 地区防災活動、支え合い活動への支援（城東地区）

- （ア）地区防災計画及び「ささえ合いマップ」の作成支援
- （イ）町会ごとの危険箇所等を記載した「わがまちマップ」の作成支援
- （ウ）城東地区ふれあい防災まつりの運営に参加（10月14日）
- （エ）高齢者の困りごと実態調査への協力

イ 地区見守り活動の推進

「折り紙を添えた手紙プロジェクト」（東部地区主催）

一人暮らしや老々世帯等に対し、民生委員・児童委員が折り紙を添えた手紙を持参して訪問し、安否確認を行う企画について提案・実施協力を行いました。

ウ 地区民生児童委員協議会研修の企画・参加

- （ア）城東地区民生児童委員協議会
 - ・愛泉会 軽井沢治育園 視察（10月5日）
- （イ）白板地区民生児童委員協議会
 - ・飯山市福祉センター視察研修（交流会）〔10月17日〕

❖ ボランティアセンター活動の推進

ボランティア活動の必要性や役割、地域や関係機関との連携・協力体制等を整理した「松本市ボランティア事業運営方針」に基づきボランティア活動を推進しました。

ボランティアの需給調整は、傾聴ボランティア、芸能ボランティア等の登録者データを活用して行いました。

また、ボランティア関連講座として、傾聴ボランティアフォローアップ講座、子育て応援ボランティア養成講座を行ったほか、被災地復興活動講座では災害ボランティア養成セミナーを開催しました。特に、子育て応援ボランティア養成講座修了者を中心とした「ママ・パパカフェ」の開催や、「木陰マルシェ」のキッズコーナーでのボランティアなど新たな活動につなげることができました。

また、ボランティアに関わる市民が気軽に集える場として「ボラセン♡サロン」を開催し、ボランティアセンターの活性化を進めました。

(1) 活動基盤整備事業

ア 拠点機能の活用

(ア) 総合社会福祉センター内「ボランティアセンター」での受付相談

(イ) 北部福祉複合施設内「ボランティアルーム」の活用

開設日数	360日(359日)	()内は前年度
利用団体件数	76件(97件)	
利用人数	1,090人(959人)	

イ 調査・研究活動の推進

(ア) ボランティアグループ数・活動者数調査(令和6年3月31日現在)

項 目		登録・活動者数
個人ボランティア	人数	181人
ボランティア団体	団体数	195団体
	所属人数	4,489人
ボランティア行事	件数	96件
送迎ボランティア	実施団体数	26団体

(イ) 登録しているグループ及び活動者の主な活動分野

- ①高齢者の福祉活動
- ②障がい者の福祉活動
- ③子育て(乳幼児)に関する活動
- ④青少年(児童)の健全育成に関する活動
- ⑤健康や医療に関する活動
- ⑥教育、文化、スポーツ振興
- ⑦地域の美化・環境保全に関する活動
- ⑧災害時のボランティア活動
- ⑨防災、防犯、交通安全などの活動
- ⑩人権擁護に関する活動
- ⑪国際交流・国際協力に関する活動
- ⑫まちづくりなどに関する活動

ウ ボランティア活動保険等の受付件数 (単位：件)

内 容	本所 (波田含む)	四賀	安曇	奈川	梓川	北部	計
ボランティア活動保険	369	29	4	1	27	38	468
行事用、送迎、福祉サービス保険	118	5	0	0	2	15	140
合 計	487	34	4	1	29	53	608
事 故 報 告	6	0	0	0	0	0	6

エ ボランティアの相談、需給調整件数 (単位：件)

内 容	ボランティア センター	四賀	安曇	奈川	梓川	波田	計
ボランティア活動希望(相談)	67	42	0	0	77	32	218
ボランティアのニーズ	(演芸等) 253	8	0	0	0	0	273
	(傾聴)12						
合 計	332	50	0	0	77	32	491

(2) 啓発・広報・情報提供

- ア 社協まつもと「つむぎちゃん通信」、社協ホームページ・ブログ・Twitter・YouTube を活用し、ボランティア情報を随時更新
- イ メディア、掲示板活用
- ウ 市民活動サポートセンターホームページへの情報提供

(3) ボランティア養成・研修事業

- ア 出前講座
 - ・ ボランティア講座 4 回開催 参加者 1 2 8 人
 - ・ 老後の生き方・暮らし方のデザイン 7 回開催 参加者 1 7 1 人
 - ・ 災害時や災害に備えて 1 3 回開催 参加者 2 8 5 人
 - ・ 傾聴ボランティア講座 5 回開催 参加者 1 0 5 人
 - ・ 回想法（懐かし写真） 1 2 回開催 参加者 3 1 2 人
- イ ボランティア研修（波田地区） 3 回開催 参加者 8 4 人

(4) 災害ボランティアセンター設置運営訓練

大規模地震により甚大な被害が発生したとの想定により、令和5年度松本市総合防災訓練において災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。災害ボランティアセンター支援協定を締結している市内4ライオンズクラブ並びに松本青年会議所との合同訓練を引き続き実施することに加え、災害ボランティア登録者や日赤奉仕団、高校生の参加協力を得ながら、支援が必要なエリアへボランティアをバス輸送するエリアマッチング訓練を行いました。

- ア 期 日 令和5年8月27日(日)
- イ 訓練会場 西部地区センター安曇事業所および奈川文化センター夢の森
(奈川サテライト)
- ウ 訓練時間 9時～11時30分
- エ 参加者 ライオンズクラブ会員 11人
(松本、松本深志、松本アルプス、松本中央)
松本青年会議所会員 1人
西部地区日赤奉仕団 7人
災害ボランティア 20人
梓川高校生徒(引率含) 6人
社協職員 28人
松本市高齢福祉課職員 1人 計74人
- オ 訓練項目 オリエンテーション、ボランティアの受入れ・需給調整、サテライトの設置運営、ボランティアの輸送訓練、資機材運搬・受入れ、松本ブロック社協・市内4ライオンズクラブ・松本青年会議所との情報伝達訓練等

(5) 福祉教育の推進

ア 社会福祉普及校事業

児童生徒等が福祉体験を通して、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活を通じて相互扶助と思いやりの心を育てることを目的に、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校へ補助金を交付しました。また、活動の参考となるよう各校の報告をまとめた事例集を全学校へ配布しました。

(ア) 補助金交付校数・事業件数

小学校	19校・43件
中学校	15校・34件
小中学校	1校・4件
高等学校	4校・7件
特別支援学校	4校・10件
計	43校・98件

(イ) 補助金額

1校 1万円上限(ただし、盲学校は2万円上限)

(ウ) 普及校連絡会議の開催

福祉教育の意義、体験学習の内容、事務手続き等について説明

令和5年6月1日 42校参加

イ 福祉教育出前講座の実施

(附属資料 5)

小・中・高等学校や児童センター等において、ユニバーサルデザインの説明や高齢・障がいの疑似体験などを行う出前講座を行いました。

実施件数

小学校	13件
中学校	9件
高等学校	1件
児童センター	15件
その他	6件
計	44件

(6) エコキャップ運動の推進

「エコキャップ運動」とは、ペットボトルキャップを集めて、リサイクル業者に引き取ってもらい、その代金をユニセフを通じてポリオワクチン等に代えて開発途上国で暮らす子どもたちに送るもので、本会では平成20年6月から活動を続けています。

ア リサイクル業者に収めたキャップの総重量

令和5年度 7,560kg (ポリオワクチン3,780人分)

(約1kgあたり10円、ポリオワクチン1人分20円で換算)

イ 協力団体等

小・中学校、病院、企業、民生委員・児童委員協議会、福祉ひろば、

地区社協、町会、福祉施設、児童館、地域づくりセンター、公民館、個人等

ウ 平成30年度から松本深志ライオンズクラブにリサイクル業者への運搬を協力いただいています。

(7) ボランティア養成講座

ア 「子育て応援ボランティア養成講座」

核家族化や地域のつながりが希薄な環境のなかで、多くの子育て中の親が孤独感・孤立感を抱いています。また、ボランティアセンターにおける託児ボランティアの依頼に対して、現在対応できるボランティアも少ない状況にあります。このような社会環境や状況を踏まえ、ボランティアによる子育てのサポートを目的とした「子育てボランティア」養成講座を開催しました。

(ア) 日 時 令和5年7月21日(金) 午後1時30分～午後4時

(イ) 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

(ウ) 内容及び講師

講義① 「松本市の子育て支援事業について」

講師 松本市子ども育成課 課長補佐 宇留賀 智 氏

講座② 「子育て家庭の居場所づくり」

講師 こどもとおとな食堂「アップルツリー」代表 矢島 美咲 氏

(エ) 参加者 18人

イ 「傾聴ボランティアフォローアップ講座」

傾聴ボランティア活動者と、令和4年度ボランティア養成講座「傾聴ボランティア養成講座」受講者を対象として、技術の向上や活動者の意欲向上を目的に講座を開催しました。

- (ア) 日 時 令和5年9月27日(水) 午後1時30分～午後4時
- (イ) 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室
- (ウ) 講 師 内山 二郎 氏
- (エ) 参加者 51人

(8) ボランティアありがとうの集い

ボランティア活動等に取り組んでいただいている方々に向けた感謝の気持ちと、今後もまた頑張ろうという気持ちになっていただくことを目的とした集いを開催しました。

- ア 日 時 令和5年12月22日(金) 午前10時30分～12時
- イ 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室
- ウ 参加者 70人
- エ 内 容
 - (ア) ミニコンサート(長野県松本文化会館附属管楽アンサンブル)
 - (イ) 落語寄席(和泉家 志ん治 氏)

(9) 被災地復興活動講座

近年、毎年のように大雨による災害が各地で発生し、被災地でのボランティア活動に対する関心が高まっています。本会では、災害に備えて「災害ボランティアへの事前登録」を推進していますが、その登録者等を対象に、災害ボランティアの心構えや自身の安全、被災者への寄り添い等、実際の活動のノウハウを習得することを目的としてセミナーを開催しました。

- ア 日 時 令和6年1月20日(土) 午後1時30分～午後4時30分
- イ 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室
- ウ 参加者 70人
- エ 内 容 災害ボランティア養成研修(入門編・基礎編)
(一般社団法人ピースポート災害支援センター「防災・減災教育プログラム」)

(10) ボランティア交流集会

松本市内でボランティア活動や地域活動に携わる方、関心のある方が一堂に会し、活動発表などを通して個人・グループのボランティア同士が知り合い、情報交換を行う場として開催しました。

- ア 松本市ボランティア交流集会 ～2023 夏～
 - (ア) 日 時 令和5年7月22日(土) 午後1時30分～午後4時
 - (イ) 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室
 - (ウ) 参加者 127人

(エ) 内 容

a ウェルカムステージ

- ①スーパーボーイズ (ダンス)
- ②中澤 園子 氏 (ソプラノ独唱)、岡田 英恵 氏 (ピアノ)

b 芸能ボランティアステージ

- ①麗音 (錢太鼓)
- ②ハウラ フラ エ ホオナニ ナ プア (フラダンス)
- ③ララミーヤ (バンド演奏)
- ④スマイル (マジック)
- ⑤小林 一矢氏 (中国伝統芸能変面ショー)

イ 松本市ボランティア交流集会 2024～花朝～

(ア) 日 時 令和6年2月10日 (土) 午後1時30分～午後3時30分

(イ) 会 場 松本市総合社会福祉センター4階

(ウ) 参加者 約70人

(エ) 内容

a ウェルカムステージ

並柳太鼓連 (太鼓)

b 芸能ボランティア

- ①まなびやバンド (学生バンド)
- ②プラチナコーラス (コーラス)
- ③社協つむぎちゃん劇団四賀チーム (訪問販売詐欺防止啓発寸劇)
- ④アップルズ (キッズダンス)

(11) 社協つむぎちゃん劇団

本所及び四賀地区で結成したボランティア劇団が、「電話でお金詐欺被害防止」の啓発をする寸劇を、各地区・町会で公演しました。

ア 劇団員数 本所：11人、四賀地区：7人

イ 練習回数 本所：21回、四賀地区：12回

ウ 公演回数 本所：17回、四賀地区：21回

(12) 炊き出しキャラバン隊

炊き出しを通じて、子どもや高齢者等への食事支援や地域交流のきっかけづくり、防災・減災の意識啓発などを目的にボランティアを募り、「炊き出しキャラバン隊」を結成して、地区・町会で活動しました。

ア 隊員数 53人

イ 活動件数 7件

❖ 福祉啓発活動

(1) 令和5年度松本市社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されたことに伴い、コロナ禍前の規模に戻して表彰式典と記念講演を行いました。

ア 日時 令和5年10月26日(木) 13:30～16:00

イ 会場 松本市音楽文化ホール 大ホール

ウ 参加者 約230人

エ 大会内容

(ア) 松本市社会福祉大会表彰

社会福祉事業特別功労者 23名 4団体

共同募金模範協力者 7名 計30名 4団体

(イ) 記念公演

テーマ 「誰もが安心して暮らせる社会の実現

～子ども食堂と私たちの地域社会～

講師 湯浅 誠 氏 (社会活動家 NPO法人全国子ども食堂支援
センター むすびえ 理事長)

(2) 広報及び情報活動の推進

ア 広報紙「つむぎちゃん通信(社協まつもと)」を発行

年4回(7月1日、10月1日、1月1日、4月1日)

イ 社協ホームページ、ブログ、Twitter、YouTubeでの情報発信

❖ 高齢者福祉事業

高齢者が、いつまでも色あせることなく輝き続けながら、より充実した豊かな生活を送れるよう支援するため、プラチナ大学の開校及び生きがい講座等を開催しました。

(1) 松本市プラチナ大学

プラチナ世代の皆さんの生活がより充実し、豊かなものとなるよう、積極的に“自らを磨き高め、よき友を得て、地域社会に貢献する”ことを目標に、多くの仲間とともに学べる機会として開校しました。

ア 入学式等 入学式 令和5年5月14日 卒業式 令和6年2月14日

イ 講座概要 16日間／25講座等／27単位

ウ 講座内容 「松本らしさに触れる」「松本を学ぶ」「情報・教養を得る」「豊かな生活に資する」等をテーマとした講座を行いました。

エ 年度別入学者及び卒業生数・卒業率 (単位：人)

卒業年度	入学生			聴講生※			学生総数			卒業生数			卒業率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
5	15	35	50	-	-	-	15	35	50	13	31	44	88.0
4	22	42	64	-	-	-	22	42	64	13	35	48	75.0
3	20	46	66	-	-	-	20	46	66	16	37	53	80.3

※聴講生制度…本校の卒業生が、再度聴講できる制度。令和3・4・5年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により募集しませんでした。

(2) 生きがい講座

高齢者の皆さんが新しい仲間と出会い、楽しみながら生きがいを感じられる機会としての講座を実施しました。

ア 講座概要

講座名	実施回数／期間	受講者／定員
健身気功	全3回／11月～12月	15人／15人
植物寄せ植え	全3回／11月	6人／10人
スマホ講座	全2回／11月	17人／15人
筆ペン習字	全3回／10月～11月	7人／15人
籐の籠づくり	全3回／11月	3人／10人
薬膳料理教室	全2回／10月～11月	14人／10人
健康体操	全8回／11月～2月	12人／30人
歌で健康力UP	全4回／12月～2月	23人／15人
計		97人／120人

イ 年度別受講者数

年 度	講座数	延べ日数	受 講 者 数			備 考
			男	女	計	
5	8 講座	28 日	14 人	83 人	97 人	2 段階で募集・開講
4	8 講座	33 日	8 人	81 人	89 人	//
3	8 講座	30 日	10 人	92 人	102 人	//

(3) 福祉団体の活動支援

ア 高齢者サークル活動支援

本センターを拠点として活動しているサークルに対して、運営上の相談や、会場調整等の支援を行いました。また、単に施設の利用だけにとどまることなく、利用者自らがサークルの垣根を越えて交流する目的で組織された「プラチナセンター利用者の会」の事務局として資料作成等の支援を行いました。

(ア) サークルの概要

- ・プラチナセンターの登録サークル数 26 団体
- ・サークルの会員数 男性96名 女性165名 計261名
- ・文化・芸術、健康づくりや趣味等、各分野のサークルごと活発に活動

(イ) 「プラチナセンター利用者の会」の主な活動（令和5年度実績）

- ・ 4 月 奉仕活動として総合社会福祉センター周辺の環境美化清掃
- ・ 10 月 プラチナセンター文化祭（高齢者クラブ作品展と共催）
- ・ 11 月 奉仕活動として総合社会福祉センター周辺の環境美化清掃
- ・ 3 月 親睦交流会

イ 高齢者クラブ連合会の運営支援

高齢者クラブ連合会の事務局として会務全般を行い、同会の事業推進に協力しました。

(ア) 高齢者クラブ数・会員数

9 地区 31 クラブ 1,290 人

(イ) 主な活動（令和5年度実績）

- ・ 7 月 第17回松本市高齢者カラオケ大会
- ・ 8 月 「まつもと市高連だより第32号」発行
- ・ 8 月 第59回松本市高齢者クラブ大会
- ・ 9 月 第63回高齢者ゲートボール・ペタンク大会
- ・ 10 月 高齢者作品展（プラチナセンター文化祭と共催）
- ・ 11 月 第21回高齢者健康大会

(4) 福祉入浴事業（プラチナセンター内の浴場）

ア 開場日時 毎週月・木曜日 12:00～16:00 年間92日

イ 利用者数 延べ 2,062人 1日平均 22.4人

(5) 地域福祉・児童福祉と連携した活動支援

ア 地域福祉活動への参加

プラチナ大学や生きがい講座の受講生・卒業生が、地域福祉やボランティア活動に参加し高齢者の知識や技能を活かした地域活動に取り組みました。

(ア) 研修

日 時 令和5年5月10日(水)

内 容 ささえあいマップ及びつむぎちゃんサポートの事業説明

(イ) ボランティア活動

日 時 令和5年11月15日(水)

内 容 「ボランティアについて」の講座受講後、松本城公園の落ち葉清掃に参加

イ プラチナきらきら交流教室の実施

プラチナセンターにおいて、高齢者と児童が世代を超えたつながりや相互理解をする世代間交流を推進しました。

期 間 令和5年8月～令和6年3月

内 容 ・南部児童センターの児童との折り紙を使った交流会に参加
・音楽サークルと児童との交流
・マジックサークルとの交流
・毎週水曜日に将棋教室の開催

❖ 児童福祉事業

松本市から児童センター18施設の指定管理と放課後児童クラブ2施設の受託により、計20施設の指定管理者及び委託管理者としての管理運営を行いました。

子どもに適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、安心・安全に過ごすことができるよう最大限の配慮を行いながら、遊びを通じた仲間関係の中で自主的な活動を援助し、社会性や豊かな人間性が育まれるように努めました。さらに、本会が運営を行う児童福祉業務の課題をまとめ、市担当部と意見交換を行うなど、本会の役割の再認識と課題解決に向けた提案を行い、児童センター職員と地域福祉の地区担当職員、地区生活支援員が共同で地域福祉活動を行いました。

(1) 実施事業

ア 放課後児童健全育成事業

就労等の理由により保護者が昼間家庭にいない世帯の小学児童を対象に、登録制により遊びや生活の場を提供しました。

(ア) 開設日 月曜日～金曜日 12:30～19:00
学校休業日 8:30～19:00

(イ) 開設場所 児童センター16か所、放課後児童クラブ2か所

イ 一時預かり事業

保護者が冠婚葬祭等の理由で子どもが見られない場合の一時的な預かりをしました。

ウ つどいの広場事業

未就園児、3歳未満の就園児を持つ親子を対象者として、気軽に集い交流する場を提供し、子育てに関わる相談や情報提供等を実施しました。

(ア) 開設日 月曜日～金曜日 9:00～14:00 (芳川:9:00～17:00)

(イ) 開設場所 あがた・南部・鎌田・芳川・島立・寿・山辺・浅間・今井・梓川・菅野・二子・田川・高宮の各児童センター及び四賀支所

エ 休日つどいの広場事業

(ア) 開設日 月1回 日曜日 9:00～14:00

(イ) 開設場所 芳川児童センターつどいの広場

オ 地域との連携

地域からの支援を受け入れるとともに、児童による地域貢献活動を実施しました。

(ア) 地域の方を講師にお迎えして、ボッチャ体験、マジック、菊づくりなどを教えていただき、皆で楽しみました。

(イ) 児童が福祉ひろばを訪問して、手づくりの工作やメッセージをお届けしたり、ダンスを披露したりする活動を実施しました。

(ウ) 地域の児童と障がい施設通所者、高齢者が連携して、身近な地域の「まると交流会」や夏祭りを行いました。

カ 子どもと高齢者のかかわり事業

しめ縄づくり、まゆ玉づくり、手づくりこまなどの伝統行事や囲碁・将棋、絵手紙、詩吟、eスポーツなどの活動を通して相互の交流を深めました。

キ 体力増進指導

児童の発達段階に応じた体力増進に有効な遊びの指導を行いました。
(年52回)

ク 保護者の子育て支援活動

児童の発達上の課題等についての相談を実施しました。

ケ 地域組織活動の育成助長

地域活動クラブ(児童センター利用児童と保護者を中心とした地域単位の活動組織)の育成助長及びその指導者の養成を行いました。

コ 自主事業の実施

こども運営委員会こども企画事業、福祉・ボランティア体験事業、ウォーキング事業、学習支援事業を行いました。

サ 青少年の居場所

あがた児童センターに中高生の専用室を設置しました。(学習室、集会室、交流スペース)

月曜日～金曜日 12:30～18:30

土曜日及び学校休校日 8:30～18:30

(ただし、祝日と年末年始は除く)

シ 自然とのふれあい事業

国営アルプスあずみの公園での散策や体験活動、上高地での自然観察など豊かな自然環境の中で、児童の創造性や協調性を養いました。

(2) 利用者の範囲

ア 児童センター 市内に居住するすべての児童(18歳未満の者)

イ つどいの広場 未就園の乳幼児、3歳未満の就園児及びその保護者

(3) 令和5年度利用実績

児童センター・放課後児童クラブ利用状況一覧表 (附属資料 6)

ア 児童センター・放課後児童クラブ	20施設	()内は4年度
・開館日数	293日	(293日)
・延べ利用者数	413,122人	(340,097人)
・1館あたり平均利用者数	70.5人/日	(59人/日)
イ つどいの広場	15施設	
・開館日数	243日	(242日)
・延べ利用者数	53,607人	(55,135人)
・1館あたり平均利用者数	14.7人/日	(15人/日)
ウ 青少年の居場所(あがた児童センター)	1施設	
・開館日数	293日	(291日)
・延べ利用者数	493人	(456人)
・1日平均利用者数	1.7人/日	(1.6人/日)

3 暮らしの支援と権利擁護

❖ 生活支援体制整備事業

(附属資料 7)

地域包括ケアシステムの柱の一つとして位置づけられた生活支援体制整備事業を推進するため、市から第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）業務を受託し、生活支援サービスの仕組みづくりに取り組んできました。

また、町会サロンや健康講座等、集いの場づくりを支援するとともに地域における課題や人材の把握に努め、安心マップづくり、ボランティア組織の立ち上げなど住民互助の基盤づくりを支援しました。

地区生活支援員を設置してから年数が経過し、その活動や役割に対する地域での認知度が高まっていることから、さらに活動を広げるために地域住民や関係職員と協働した活動事例集を作成しました。

❖ 地域包括支援センター事業

介護保険法による包括的支援事業を行う3事業所を市から受託し、保健師（看護師）・社会福祉士・主任介護支援専門員の専門職を配置し、介護予防マネジメント、総合相談、包括的・継続的マネジメント業務を実施しました。

(1) 予防給付・介護予防のケアマネジメント業務

- ア 要支援者における介護予防プラン作成及びサービス利用評価等の実施
- イ 一般介護予防対象者に対する介護予防教室の開催及び参加へのアプローチ
- ウ 介護予防の啓発
- エ 自立支援型個別ケア会議の実施

(2) 総合相談業務

ア 相談事業の広報活動を中心として地域包括支援センターを周知し、ケアマネジャー、民生委員、その他関係機関や問題を抱える方からの介護認定相談、福祉相談、権利擁護、医療、施設入所、苦情、見守り等の直接的な相談に対応しました。

また、問題が複雑に絡む困難ケース等に行政関係課と連携して対応しました。

イ 認知症高齢者、一人暮らし高齢者、高齢者世帯の実態把握と認知症サポーター養成講座の開催、物忘れ相談会、認知症カフェの開設・運営維持支援を行いました。

(3) 権利擁護業務

- ア 高齢者虐待に対応するため関係機関との対策会議等を開催
- イ 成年後見支援センターと連携をとりながら成年後見制度の一次相談機関として相談対応

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ア ケアマネジャー勉強会、相談会、多職種連携会議を開催
- イ 地区事業や行事へ参加し、地域の中でのケアマネジャーの活動を支援

(5) 地域包括ケアシステムの構築

困難事例等の支援を通じた地域課題の発見、地域のネットワークづくりの構築のため、各地区で地域ケア会議を開催しました。

(6) 会議及び研修等への参加

包括センター長会、同職種連絡会、地域包括ケア協議会、多職種連携会議、その他関係研修にオンラインを活用し各種会議・研修会等に参加しました。

(7) 活動実績

ア 南部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
5	1,123	2,734	257	1,417	126	3,495	3,621	25	167	304	106	56	92
4	1,066	2,574	278	1,242	163	2,928	3,091	52	191	306	126	55	123
3	839	2,470	162	1,011	217	2,720	2,937	22	182	250	55	116	197

イ 南西部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
5	528	1,879	241	1,222	402	2,919	3,321	68	171	439	97	86	92
4	364	1,682	183	1,220	475	2,963	3,438	36	161	336	112	78	135
3	400	1,890	215	1,665	503	3,009	3,512	53	195	326	127	62	133

ウ 西部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
5	630	2,423	124	1,475	402	2,765	3,167	49	26	327	74	79	108
4	541	2,152	139	1,073	341	2,739	3,080	34	102	355	56	87	129
3	391	1,861	110	1,022	350	2,870	3,220	88	227	353	160	76	153

❖ 自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業 (附属資料 8)

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の方で、判断能力が不十分な人が、住み慣れた地域や自宅において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

実利用者数	132名(令和6年3月31日現在)
延べ支援回数	3,295回

(2) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

失業、災害等により一時的に収入が減少した方や、療養・転居・就学等により一時的に費用が必要になった方に対して相談を行い資金の貸付を行いました。

令和5年度新規貸付	12件 8,422,000円
-----------	----------------

(3) ぐらしの資金貸付事業

低所得世帯に対し、緊急かつ一時的な理由による生活費の不足を補うため、1件3万円以内の資金貸付を行いました。

ア 貸付状況

令和5年度新規貸付	2件	35,000円
貸付残高(令和6年3月31日現在)	49件	770,000円

イ 欠損処分

償還対策を行った結果、消滅時効期間(10年)を経過し、償還不能となった債務者を償還金支払い免除者とし、滞納額の欠損処分を行いました。

(ア) 免除件数・金額

免除件数	13件	免除金額	216,000円
------	-----	------	----------

(イ) 免除者の内訳

区 分	免除件数	免除金額
借受人及び保証人が死亡または行方不明	13件	216,000円

❖ 生活就労支援センター事業(まいさぼ松本)

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を市から受託し、生活困窮者の自立に向けた支援を行いました。

令和5年度から委託元が松本市市民相談課から松本市生活福祉課へと移管され、それに伴い事務所も市役所本庁舎1階の市民相談課内から東庁舎2階へ移動しました。これまで同様、関係課との連携を深め相談者の利便性に配慮した相談事業所運営に取り組みました。併せて受託する家計改善支援事業では相談者の家計状況を明らかにしながら自立を促進しました。

(1) 相談及び対応

ア 延べ相談人数 1, 378名 (令和4年度 2, 444名)

イ 延べ対応回数 5, 050回 (令和4年度 7, 400回)

(2) 支援調整会議

市及びハローワークと支援内容を調整し、支援計画が適切なものであるか確認を行いました。

毎月第3水曜日を基本とし、全12回開催

(3) 住居確保給付金の窓口業務

住居確保給付金に関する相談・受付業務、受給中の面接等の業務を行いました。

5名利用 (令和4年度 44名)

(4) 家計改善支援事業

相談者の家計状況を「見える化」し、相談者自身の家計管理の意欲を高めることで自立促進を図りました。

39名利用 (令和4年度 24名)

❖ 成年後見支援センター事業

(附属資料 9)

成年後見制度利用促進法における中核機関業務を令和3年度から一部受託し、専門的な二次相談への対応、市民後見人の養成などの担い手育成のほか、法人後見の受任などを通じて、地域住民の権利擁護に取り組みました。

(1) 事業対象地域 (事業参加市村)

松本市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村 (2市5村)

(2) 実施事業

ア 行政、地域包括支援センター及び障害者総合相談支援センター等の担当からの二次相談への対応

相談件数 605件 (延べ620人)

イ 研修会の開催等

(ア) 行政、福祉関係者、団体等からの依頼による研修会、視察等への対応
105回

(イ) 市村内部調整会議等へのセンター職員の参加 61回

ウ 「成年後見人等のつどい」の開催

成年後見人等の担い手支援及び制度の周知啓発を目的として開催しました。

(ア) 日 時 令和5年11月12日 (日) 13:30~16:00

(イ) 講 師 小松和茂 司法書士

(ウ) 内 容 講演「成年後見制度と相続登記」、個別相談

(エ) 参加者 60名 うち個別相談3件4名

エ 法人後見等の受任

(ア) 令和5年度中に審判が確定した件数 6件 (うち市村長申立6件)

(イ) 平成23年度からの累計件数 203件

- (ウ) 令和4年度までに終了した件数 124件
 (エ) 令和5年度中に終了した件数 13件
 (オ) 令和5年度末の受任件数 66件

(内訳)

後見類型 (判断能力がほとんどない人)

松本市31件、安曇野市13件、生坂村1件、山形村2件、
 その他2件 計49件

保佐類型 (判断能力が著しく不十分な人)

松本市7件、安曇野市3件、山形村3件、朝日村1件、
 その他2件 計16件

補助類型 (判断の力が不十分な人)

松本市1件

- (カ) 令和5年度中に行った成年被後見人等への支援回数 9,548回

(内容) 訪問 360回、財産管理 4,579回

身上保護※ 3,433回、打合せ他 1,176回

※身上保護：介護・福祉サービスの利用、医療・福祉施設の入退所手続き、
 費用の支払いなど、日常生活に関わってくる契約などを支援すること。

オ 法人後見業務監査の実施

6月12日に令和4年度法人後見受任案件全86件(終了案件も含む)について業務執行状況及び財産管理状況の監査を受け、いずれも適正であることが認められました。

カ 市民後見人養成事業の実施

(ア) 令和5年度末の養成状況

- ・市民後見人材バンク登録者※ 12人

※バンク登録者：本会が開催する養成講座をすべて修了後、選考によりバンク登録をした者。今後の選任に備え、さらに専門性を高めるため研修等を受ける者。また、市民後見人選任後も本会の監督的指導を受ける者

- ・市民後見人候補者名簿登録者※ 12人

※名簿登録者：バンク登録後、研修を重ね専門性を高めたあと、後見人等候補者として家庭裁判所の名簿に登録した者

- ・選任された市民後見人

単独での受任 7人

複数での受任 0人

- ・市民後見人に対する支援回数 98回

(イ) 市民後見人材バンク登録者 フォローアップ研修の実施 6回

- ・第1回 「不正防止のために取り組んでいること」
- ・第2回 「不正防止について①」
- ・第3回 「市民後見人活動の基準(マニュアル)説明」
- ・第4回 「不正防止について②」
- ・第5回 「市民後見人情報交換会」
- ・第6回 「対人援助研修」

～いのちの終わりについて、まず自分事として考える～

(ウ) 市民後見人材バンク登録者の実習

市民後見人材バンク登録者を法人後見支援員として任用し、年間を通じた法人後見業務の支援活動を実務実習に充てました。

キ 「松安筑成年後見ネットワーク協議会※」の開催 2回

※協議会： 後見等開始の前後を問わず、「チーム」に対し法律・福祉の専門職団体や関係機関が必要な支援を行えるよう、各地域において、専門職団体や関係機関が連携体制を強化し、各専門職団体や各関係機関が自発的に協力する体制づくりを進める合議体

ク 「成年後見制度利用促進専門委員会※」の開催 6回

・専門委員会での検討事例件数 延べ15件

※専門委員会：適切な後見人等候補者の調整や、複合困難世帯に対する支援方法を検討する会議

❖ 有償生活支援事業「つむぎちゃんサポート」

(1) 有償生活支援事業の推進

高齢や障がいなどのために日常生活に支援が必要な利用会員宅に協力会員が出向き、家事支援（掃除・調理・洗濯等）や外出支援を行いました。

利用・協力会員数は、地区担当職員と地区生活支援員が連携して募集したことにより増加傾向にあります。支援内容については、利用時間、利用回数ともに外出支援のニーズが増加しています。

生活支援体制整備事業の一つの取組みである地区への事業拡充については、本年度に7地区（第一、第二、城北、松南、神林、本郷、波田）を加え、全11地区でコーディネート業務の一部を地区生活支援員が担っています。

(2) 登録会員数（令和6年3月31日現在）

年度	利用会員		協力会員	
	会員数（人）	増減率（%）	会員数（人）	増減率（%）
5	359	3.5	246	6.5
4	347	△6.0	231	30.0
3	369	△16.7	178	△18.3

(3) 利用時間（延べ）

年度	利用時間			
	家事支援	増減率（%）	外出支援	増減率（%）
5	6,131.5	9.7	648.0	29.0
4	5,587.5	△22.9	502.5	3.2
3	7,245.0	△0.8	487.0	△7.9

(4) 利用回数（延べ）

年度	利用回数			
	家事支援	増減率（%）	外出支援	増減率（%）
5	4,160	△1.2	358	35.1
4	4,211	△19.2	265	0.4
3	5,214	1.0	264	△16.2

(5) ゴミ出し援助サービス 利用回数・人数（延べ）

年度	利用回数		利用者		協力者	
	回数	増減率（%）	人数	増減率（%）	人数	増減率（%）
5	6,366	△9.6	1,341	△3.4	777	6.4
4	7,039	△6.4	1,388	△5.8	730	△8.4
3	7,521	3.4	1,473	0.6	797	△9.6

❖ 高齢者・障害者等への生活福祉関連事業

(1) 福祉器具等貸出事業

ア 車椅子の貸出し

(延べ台数)

年度	本所	四賀地区	梓川地区	波田地区	北部地区	合計
5	382	43	18	31	30	504
4	377	42	17	27	35	498
3	337	48	27	39	17	468

イ 福祉自動車の貸出し

(延べ台数)

年度	本所	四賀地区	梓川地区	波田地区	北部地区	合計
5	212	86	47	67	54	466
4	145	96	29	34	20	324
3	146	72	43	34	—	295

(2) 福祉有償運送サービス事業・公共交通空白地有償運送サービス事業

公共交通機関を利用することが困難な高齢者・障害者等の日常生活の利便を図るために、有償運送サービスを実施

(延べ件数)

年度	本所	四賀地区	安曇地区	奈川地区	北部地区	合計
5	56	738	514	501	112	1,921
4	41	646	631	472	172	1,962
3	41	557	754	587	196	2,135

(3) 高齢者等配食サービス事業（市受託事業）

高齢者・障害者等世帯へ食事を配達することで、対象者の食生活の維持及び見守りを実施

(延べ件数)

年度	四賀地区	安曇地区	奈川地区	合計
5	3,170	1,311	179	4,660
4	3,228	1,958	364	5,550
3	3,223	1,847	296	5,366

(4) 軽度生活援助事業（市受託事業）

65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者世帯へ生活援助員を派遣して、草取りや周囲の片付けなどの軽易な作業を行い日常生活を支援

年度	四賀地区	(延べ件数)
5	16	
4	15	
3	17	

(5) 身体障害者等訪問入浴サービス事業（市受託事業）

家庭での入浴が困難な障がい者・難病患者の方に対して、自宅に浴槽を搬入して入浴を実施

年度	本所	(延べ件数)
5	365	
4	239	
3	251	

(6) 奈川社会就労センター（市指定管理）

身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情により就労能力の限られている要保護者等に対して、就労の機会を提供するとともに、必要な知識及び技能の習得など自立支援に努めています。

また、令和5年度末で寄合渡分場から旧奈川保健福祉センターの建物に移転し、事業を実施しています。

ア 在籍者の状況（令和6年3月31日現在）

男 性	女 性	計
2人	7人	9人

イ 事業内容

一般企業から仕事を受注し、その作業に必要な経費を控除した売上金全額を工賃として支給

(ア) 企業からの受託事業

本多通信工業(株)、(株)アイニックス、シナノカメラ工業(株)、(株)おむすびころりん本舗、(株)穂高観光食品、(株)あずみ野食品

(電子部品の検査及び加工、フリーズドライ選別、食品包装)

(イ) 作業収入、工賃支給額

電子部品関係の企業の経営不振によって発注が減ったうえ、食品包装等の仕事も不安定な受注状況でした。このため作業収入全体が減少し一人当たりの工賃も前年度と比較すると、減少しています。

年度	作業収入額(円)	増減率(%)	工賃支給額(円)	増減率(%)
5	8,350,314	△30.6	7,365,122	△29.2
4	12,040,324	△5.8	10,401,446	△10.9
3	12,786,304	3.3	11,671,584	5.3

・令和5年度平均工賃単価（一人当たり）

68,195円/月（令和4年度：79,097円/月）

(7) 奈川ふれあいの家（市指定管理）

高齢者等の生きがい活動の場と、ひとり暮らしの不安解消・自立を図る居住施設として管理運営を行いました。

ア 居住施設（居室4室）

利用状況： 4月～3月 2世帯2人

イ 共有施設（広間）

年度	利用者数(人)	増減(人)
5	318	△178
4	496	135
3	361	133

(8) ほのぼの広場（奈川屋内スポーツ施設）（市指定管理）

年度	利用者数(人)	増減(人)
5	269	△6
4	275	23
3	252	104

4 介護サービスの提供

❖ 介護保険事業（介護保険法対象事業）

（1）全体概要

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類へと移行し、各サービスに回復の兆しが見られました。前年度に比べ、訪問介護、訪問入浴、通所介護事業で利用回数が増えたことに加え、通所介護事業における利用人数に応じた事業規模の変更や、資格保有者の配置見直しによる上位加算の取得など経営改善を実施しました。また、各事業所目標を設定し、毎月評価する取組みを行い、稼働の向上を目指しました。

前年度と比較して、介護保険全体で、利用回数は2,278回（2.0%）増加し、介護報酬は28,114千円（3.2%）の増収となりました。

【事業別介護報酬一覧】

年度	項目	居宅介護	訪問介護	訪問入浴	通所介護 (通所型サービスA含)	計
5	延べ回数(回)	17,348	41,909	1,858	57,276	118,391
	介護報酬額(千円)	207,017	156,722	26,147	529,000	918,886
4	延べ回数(回)	17,753	40,462	1,757	56,141	116,113
	介護報酬額(千円)	218,588	144,220	24,585	503,379	890,772
3	延べ回数(回)	18,008	45,153	1,757	59,898	124,816
	介護報酬額(千円)	222,179	160,415	24,530	524,075	931,199
前年 比較	延べ回数(回)	△405	1,447	101	1,135	2,278
	増減率(%)	△2.3	3.6	5.7	2.0	2.0
	介護報酬額(千円)	△11,571	12,502	1,562	25,621	28,114
	増減率(%)	△5.3	8.7	6.4	5.0	3.2

（2）居宅介護支援事業

介護支援専門員が介護保険サービス利用者の相談に応じ、利用者の状態に合った在宅・施設サービスを利用できるよう市町村、在宅サービス事業所、介護保険施設等との連絡調整を行い、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

西部の減算適用、四賀の職員配置による加算の引き下げ、また、山間部地域の在宅サービスの利用者減少により、介護報酬は前年より11,571千円(5.3%)減収になりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
5	延べ回数(回)	6,142	5,173	1,880	4,153	17,348
	介護報酬額(千円)	73,709	57,742	22,890	52,676	207,017
4	延べ回数(回)	6,071	5,617	1,964	4,101	17,753
	介護報酬額(千円)	73,238	67,377	25,391	52,582	218,588
3	延べ回数(回)	6,306	5,520	2,112	4,070	18,008
	介護報酬額(千円)	76,553	66,333	27,434	51,859	222,179
前年比較	延べ回数(回)	71	△444	△84	52	△405
	増減率(%)	1.2	△7.9	△4.3	1.3	△2.3
	介護報酬額(千円)	471	△9,635	△2,501	94	△11,571
	増減率(%)	0.6	△14.3	△9.9	0.2	△5.3

(3) 訪問介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が家庭を訪問し身体介護や生活援助のサービスを実施しました。コロナ感染者の減少による利用回数の増加のほか、職員による利用者の受入れ体制の改善やサービス向上への取組み、サービス内容を見直し新たなサービスの提供を実施する等の努力もあり、訪問介護事業全体では、前年に比べ利用回数が3.6%増加し、介護報酬は12,502千円の増収となりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
5	延べ回数(回)	20,123	7,766	5,365	8,655	41,909
	介護報酬額(千円)	72,280	30,457	20,470	33,515	156,722
4	延べ回数(回)	17,880	7,157	6,457	8,968	40,462
	介護報酬額(千円)	61,744	26,816	23,326	32,334	144,220
3	延べ回数(回)	20,533	7,149	7,577	9,894	45,153
	介護報酬額(千円)	70,535	26,931	27,363	35,586	160,415
前年比較	延べ回数(回)	2,243	609	△1,092	△313	1,447
	増減率(%)	12.5	8.5	△16.9	△3.5	3.6
	介護報酬額(千円)	10,536	3,641	△2,856	1,181	12,502
	増減率(%)	17.1	13.6	△12.3	3.7	8.7

【サービス別利用状況一覧】

事業所 項目	本所		西部		四賀		北部		計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
身体昼間	10,405	5,663	4,156	2,574	3,052	1,765	2,988	1,937	20,601	11,939
通院等乗降介助	10	5	0	0	0	0	0	0	10	5
身体生活	2,526	2,936	1,201	1,312	1,057	1,206	1,227	1,715	6,011	7,169
生活援助	2,873	2,818	431	343	650	571	1,388	1,246	5,342	4,978
介護予防	4,309	4,248	1,978	1,830	606	588	3,052	2,988	9,945	9,654
合計	20,123	15,670	7,766	6,059	5,365	4,130	8,655	7,886	41,909	33,745

(4) 訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な高齢者の家庭へ移動入浴車で訪問し、組立て式の浴槽を搬入して、介護員と看護師が入浴サービスを提供しました。近年は自宅で最期を迎えられるターミナルケアの方の利用の増加もあり、利用回数は前年に比べ101回増え、介護報酬も1,562千円の増収となりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所
5	延べ回数(回)	1,858
	介護報酬額(千円)	26,147
4	延べ回数(回)	1,757
	介護報酬額(千円)	24,585
3	延べ回数(回)	1,757
	介護報酬額(千円)	24,530
前年比較	延べ回数(回)	101
	増減率(%)	5.7
	介護報酬額(千円)	1,562
	増減率(%)	6.4

(5) 通所介護事業

ア 通所介護サービス

令和5年度はコロナ感染者の減少と事業所の感染対策により、コロナによる休業は全事業所で3日間(令和4年度は65日間)と減少し、下半期はほぼ通常の営業ができました。

また、通所介護事業所では経営改善の取組みとして、利用人数に応じた事業規模の変更や、資格保有者の配置見直しによる加算取得、広報等に取り組み、前年に比べ利用回数が2.6%増加し、介護報酬は26,781千円(5.4%)の増収となりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	安曇	奈川	梓川	波田		四賀	北部		計
		いいら	心和荘	なごみ荘	ふれあい	きたはらっぱ	ぶくぶくの郷	北部	東部	
5	延べ回数(回)	4,340	1,992	8,017	8,224	3,229	9,487	11,772	8,225	55,286
	介護報酬額(千円)	39,888	18,428	77,898	75,198	27,354	90,945	118,575	73,076	521,362
4	延べ回数(回)	4,735	2,456	7,281	8,550	2,848	8,932	11,734	7,330	53,866
	介護報酬額(千円)	35,529	18,345	70,739	76,888	24,500	87,089	116,952	64,539	494,581
3	延べ回数(回)	5,868	2,904	7,971	8,629	2,766	9,703	12,297	7,212	57,350
	介護報酬額(千円)	41,920	22,201	74,267	76,899	26,440	95,469	117,145	59,985	514,326
前年比較	延べ回数(回)	△395	△464	736	△326	381	555	38	895	1,420
	増減率(%)	△8.3	△18.9	10.1	△3.8	13.4	6.2	0.3	12.2	2.6
	介護報酬額(千円)	4,359	83	7,159	△1,690	2,854	3,856	1,623	8,537	26,781
	増減率(%)	12.2	0.5	10.1	△2.2	11.6	4.4	1.4	13.2	5.4

イ 通所型サービスA（市受託事業）

要支援者やサービス事業対象者の方が要介護状態や閉じこもりにならないように、体操や仲間との交流を通じて身体機能の維持・向上を図るため、少人数で、地域に密着した介護予防のサービスを実施しました。利用回数は前年度に比べ12.5%減少し、報酬は1,160千円の減収となりました。

利用者が減少している現状を松本市に報告し、引き続き地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所へ利用を呼びかけ新規利用者の確保に努めました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	安曇	奈川	梓川	四賀	計
5	延べ回数（回）	300	584	873	233	1,990
	介護報酬額（千円）	1,192	2,365	3,300	781	7,638
4	延べ回数（回）	376	612	991	296	2,275
	介護報酬額（千円）	1,519	2,479	3,746	1,054	8,798
3	延べ回数（回）	397	601	1,174	376	2,548
	介護報酬額（千円）	1,607	2,436	4,444	1,262	9,749
前年 比較	延べ回数（回）	△76	△28	△118	△63	△285
	増減率（%）	△20.2	△4.6	△11.9	△21.3	△12.5
	介護報酬額（千円）	△327	△114	△446	△273	△1,160
	増減率（%）	△21.5	△4.6	△11.9	△26.0	△13.2

5 障害者福祉の推進

❖ 障害者在宅支援事業

(1) 障害者相談支援事業

障がい者及び障がい児の自立した日常生活、社会生活を目指し利用者への相談支援やサービス等利用計画の作成をしました。

新規利用者の受入れと加算の取得を心掛け、前年より6.6%の増収となりました。

【年度別計画相談支援報酬額】

年度	延べ請求回数(回)	報酬額(千円)	増減率(%)
5	601	8,886	6.6
4	531	8,333	4.7
3	513	7,960	△13.6

(2) 居宅介護(訪問介護)等事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者宅を訪問し身体介護や家事援助等を実施しました。

全体的に利用回数が減少しましたが、令和5年度より新たに処遇改善加算を取得したことにより、報酬額で前年比9,826千円(26.7%)の増収となりました。

【事業所別報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
5	延べ回数(回)	5,382	1,161	186	4,640	11,369
	報酬額(千円)	22,709	4,782	776	18,375	46,642
4	延べ回数(回)	5,579	1,191	154	4,809	11,733
	報酬額(千円)	17,584	3,946	482	14,804	36,816
3	延べ回数(回)	5,508	1,618	175	5,690	12,991
	報酬額(千円)	17,330	5,260	568	16,960	40,118
前年比較	延べ回数(回)	△197	△30	32	△169	△364
	増減率(%)	△3.5	△2.5	20.8	△3.5	△3.1
	報酬額(千円)	5,125	836	294	3,571	9,826
	増減率(%)	29.1	21.1	61.0	24.1	26.7

【サービス別稼働状況一覧】

事業所 項目	本所		西部		四賀		北部		計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
身体介護	2,715	2,271	517	504	186	96	1,269	1,313	4,687	4,184
家事援助	2,604	2,581	644	636	0	0	3,096	2,819	6,344	6,036
通院介助	1	2	0	0	0	0	31	61	32	63
同行援護	40	49	0	0	0	0	167	171	207	220
移動支援	22	23	0	0	0	0	77	39	99	62
合計	5,382	4,926	1,161	1,140	186	96	4,640	4,403	11,369	10,565

❖ 児童発達支援等事業

しいのみ学園（市指定管理）

障がい児及びその家族に対し、児童福祉法に基づく児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を実施しました。

（１）事業所目標

しあわせねがい いろとりどりにえがくみらいへ のびのびたのしく
みんないっしょに はじめのいっしょ

（２）事業内容

月	行 事	
4	・在籍22名でスタート （児童発達15人・放課後等デイ7人） ・前期個別懇談・園外保育（お花見）	【医療・訓練・相談】 ・心理相談（年10回） ・内科健診（年2回） ・神経科診察（年4回） ・ST相談指導（年12回） ・OT相談指導（年12回） ・歯科検診（年1回） ・音楽療法（年6回） 【療育】 ・母子通園（毎日） ・単独通園（月・火・木曜日） ・PT訓練 ・個別指導 ・摂食指導 ・課題保育 ・体操 ・マッサージ など ・緊急時の分離 ・看護師による医療行為及び体調管理 【あそび】 ・集団あそび ・感触あそび ・感覚あそび ・運動あそび ・製作 ・散歩 等 【交流保育】 ・南松本保育園 【その他】 ・保護者会（月1回） ・身体測定（月1回） ・お話し会（年4回） ・母親学級（年2回） 【放課後等デイサービスの実施】 ・随時受入れ ★新入園児利用契約（随時） ★前年度卒園児の特別支援学校、保育園訪問 ★他の医療・福祉機関との情報共有、ケア会議等連携 ★就学指導委員会、教育相談 ★実習・見学実習生受入れ （PT・施設実習）
5	・園外保育（スカイパーク）・神経科診察 ・誕生会（4・5・6月生まれ） ・野外療育（ハイジの村）	
6	・野菜の苗植え、種まき ・園外保育（電車の旅・イルフ童画館）	
7	・七夕飾り・プールあそび・家族参観日	
8	・夏まつり ・内科・神経科診察	
9	・園外保育（アルプス公園） ・誕生会（7・8・9月生れ）	
10	・園外保育（豊科南部総合公園） ・野外療育（懐古園） ・おはなしコンサート ・後期個別懇談会・いもほり	
11	・やきいも会 ・父親参観日 ・誕生会（10・11・12月生れ）	
12	・もみの木飾り・クリスマス会 ・内科・神経科診察	
1	・お正月ゲームあそび	
2	・豆まき ・歯科検診・神経科診察 ・野外療育（そりすべり・朝日プライムスキー場） ・誕生会（1・2・3月生れ）	
3	・お別れ会 ・卒園式	

(3) 開園日数・利用者数

令和5年度は新型コロナウイルス感染症だけではなく多種類の感染症（RSウイルス・アデノウイルス・ノロウイルス等）が流行し、欠席する児童が多かったことや、長期入院児が複数いたことにより登園人数が伸びず、運営費収入は減少しました。

年度	利用定員	開園日数	在園児人数	年齢区分			障害別					延人員数 (保護者含)	園児延人数	1日平均 園児数
				3歳未満	3~6歳	7歳以上	肢体不自由	知的障害	盲・ろうあ	その他	重複障害 (再掲)			
5	10	231	15	4	11	/	13	2	0	0	15	2,674	1,337	5.8
		231	7	/	/	7	5	2	0	0	7	/	196	0.8
4	10	230	14	2	12	/	12	2	0	0	14	2,590	1,295	5.6
		230	7	/	/	7	5	2	0	0	7	/	208	0.9
3	10	229	16	5	11	/	15	1	0	0	16	3,164	1,582	6.9
		229	6	/	/	6	3	3	0	0	6	/	177	0.8

(上段…児童発達支援事業 下段…放課後等デイサービス事業)

(4) 運営費収入の状況（前年度比 712,338円の減）

年度	障害児通所給付 (円)	利用者負担金 (円)	計 (円)	増減率 (%)
5	21,556,561	389,730	21,946,291	△3.1
4	22,271,058	387,571	22,658,629	△4.5
3	23,308,495	416,864	23,725,359	△0.4

❖ 障害者地域活動支援事業

心身障害者福祉センター（市指定管理）

（１）日常生活訓練事業「やまなみ学級」

就労の機会を得がたい在宅の障がい者と保護者を対象に、生活訓練や、学習・創作・野外活動等を行うことで仲間との交流を深め、生きがいを感じてもらえるような取組みを進めました。

- ・日 時 毎週月・木曜日 9：30～15：00 （実施回数 計94回）
- ・対 象 在宅重度障害者及び家族 在籍者数 8名（男3名、女5名）
- ・送 迎 リフト付きバス2台運行（車いす4台乗車可能）
- ・講 師 機能訓練：理学療法士
学 習：ボランティア5名の協力により運営
（社会、体育、科学、読み聞かせ、音楽療法）

（２）社会適応訓練事業

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
レンゲつつじ	聴覚障がい者と手話を学ぶ方が、お互いの気持ちを自然に交し合えるようになるために、手話を楽しみ、使いこなせる場づくりを進めました。	9	115
デフクローバー	介護が必要な聴覚障がいのある高齢者に対し、心の健康を保ち孤立を防ぎ、体力の維持を図るため、レクリエーションや軽体操（ストレッチ）を行いました。	23	301
すまいる	聴覚障がい者が住み慣れた地域で安心して住み続けて活動していけるよう、手話を通じた仲間づくりと交流の場を提供しました。（令和5年度新規事業）	22	306

（３）創造・軽作業事業

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
木 彫	初歩的な物から始め木彫の技術を学び創作を楽しみました。	20	97
陶 芸	土に慣れ親しみながら、小作品の創作を楽しみました。	19	125
書 道	個々に応じて指導・アドバイスを受け、書を楽しみました。	21	234
パッチワーク	聴覚障がい者、身体障がい者を中心に創作を楽しみました。	6	33

（４）その他（レクリエーション等）

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
うたの教室	楽しみやすい曲を楽しく歌い、リフレッシュを図りました。	20	309
わくわく体操教室	個々の障がいに応じた指導で体力維持と機能回復を図りました。	42	302

（５）施設の主な利用団体名

松本失語症友の会、県心理リハビリテーションの会松本地区、松本市聴覚障害者社会参加支援協会、松本市しいのみ会、松本市聴覚障害者協会、長野県聴覚障害者協会松本支部、松葉会

(6) 送迎サービス

松本市から貸与されている送迎用車両（リフト付バス）とリース車両を使用し、障がい者の送迎サービスを実施しました。

年度	1号車(ワゴン)		3号車(ワゴン)		合 計	
	年間稼働日数	利用者数	年間稼働日数	利用者数	年間稼働日数	利用者数
5	131	1,008	146	1,756	277	2,764
4	124	825	143	1,496	267	2,321
3	142	772	128	1,437	270	2,209

(7) 部屋別利用状況

年度	室 名	集会室	訓練室	計
	5	件 数	253	264
人 員		2,336	3,276	5,612
4	件 数	260	225	485
	人 員	2,157	2,553	4,710
3	件 数	269	281	550
	人 員	2,578	3,121	5,699

(8) 目的別利用状況

利用 目的 年度	開館 日数	内 容	一 般 利用者	センター事業利用者数					計
				日常生 活訓練	社会適 応訓練	創 作 軽作業	レクリエ ーション	その他	
5	348	件数	241	94	54	66	62	0	517
		人数	2,317	1,473	722	489	611	0	5,612
4	347	件数	250	92	36	61	46	0	485
		人数	2,253	1,340	418	387	312	0	4,710
3	347	件数	218	92	109	60	71	0	550
		人数	2,044	1,170	1,446	441	598	0	5,699

(9) 運営費収入の状況（前年度比 2, 290, 370円の増）

年度	地域活動支援事業 収入 (円)	地域活動支援事業 対象外利用者負担金 (円)	計 (円)	増減率 (%)
5	3,992,740	129,600	4,122,340	125.0
4	1,748,170	83,800	1,831,970	△2.7
3	1,799,530	82,900	1,882,430	9.7

※ 地域活動支援事業の単価が上がったため、運営費収入が増加しました。

❖ 就労継続支援事業

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対して、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、生産活動等に必要な知識及び能力を向上させるための訓練を行うとともに、基本的な生活習慣の獲得を図りました。

希望の家（市指定管理）

(1) 事業所目標

「かけがえのない あなたがそばにいるから 希望が生まれ 希望が叶う」

○利用者はかけがえのない存在であり、苦楽を共有し理解し合うことで、本人の生きる希望に力が湧き、いつか希望が叶うよう支援を行います。

(2) 事業内容

ア 受託事業

(ア) 民間企業、行政からの受注作業（15社・市役所）

- ・ダンボールの仕切り組立て、菓子箱の折り、袋詰め、封入・封折作業等
- ・Jリーグチケット整理券のカット

(イ) 外部就労

- ・合同庁舎清掃39回（月3～4回）
- ・総合社会福祉センター清掃97回

イ 自主生産事業

(ア) リサイクル事業

- ・新聞、広告、雑誌、カタログ、牛乳パック、アルミ缶等の回収
- ・資源物の仕分け、分別作業、積み込み運搬

(イ) 自主製品の製作・販売

- ・製作品：牛乳パックでつくる手すきハガキ・カード、ミサンガ、刺し子、台ふきん刺繍 等
- ・販売活動：Cafe ポリジ「木陰マルシェ」、「芳川まるっと青空市」

ウ 喫茶事業

(ア) 営業日：229日（前年度：201日）

(イ) Cafe ポリジの管理・運営を通じた就労訓練

店内清掃、接客、厨房作業、弁当配達、販売会業務

(ウ) Cafe ポリジ「木陰マルシェ」の開催（8回）

本会が運営する就労継続支援5事業所及び地域同業事業所（3事業所）や地元松南地区住民と共同開催

(エ) 販路拡大の取組み

- ・「ちょこっとランチ」販売会（11回）
- ・弁当等配達（29件）

(オ) 地域福祉課の「ママ・パパカフェ」や、障害福祉課の「木陰マルシェ」での託児の場の提供により、新たな層の参加者の発掘につながった。

エ 作業収入、工賃支給の実績

(ア) 受託加工・自主生産等作業収入、工賃支給額

年度	作業収入 (円)	増減率 (%)	工賃支給額 (円)	増減率 (%)
5	2,551,502	0.2	2,228,902	△0.9
4	2,545,318	15.4	2,248,960	13.9
3	2,205,486	13.6	1,974,177	21.2

・令和5年度平均工賃単価

一人あたり 8,845円/月 (令和4年度: 8,960円/月)

・減額の理由

収入は輸出関連企業の受託作業及び新規受託企業の開拓等で回復傾向にありますが、材料費や燃料費など経費の大幅な増加により支給額が微減となりました。

(イ) 喫茶事業収入、工賃支給額

年度	作業収入 (円)	増減率 (%)	工賃支給額 (円)	増減率 (%)
5	5,460,040	42.2	578,063	273.0
4	3,840,773	26.7	154,983	53.8
3	3,031,985	△1.9	100,740	3.7

・令和5年度平均工賃単価

一人あたり 1,727円/月 (令和4年度: 1,824円/月)

1,472円/月 (前年度繰越金)

・減額の理由

作業収入は増加しましたが、材料費の高騰により喫茶単独の工賃単価は微減となりました。

(ウ) 喫茶事業 来客数と5施設生産品の店内売上

年度	延べ来客数(人)	増減率 (%)	5施設売上(円)	増減率 (%)
5	4,680	34.9	1,278,339	12.6
4	3,468	24.1	1,135,023	36.6
3	2,794	△13.0	818,657	△47.2

(3) 生活訓練

ア 社会性 (挨拶、言葉づかい、共助) の向上

イ ADL (日常生活動作) の向上 …身支度、食事、排泄、清潔保持

ウ IADL (手段的生活動作) の向上 …洗濯、洗濯干し、服薬、食洗、清掃

エ おつかれ様会 (年末、年度末お茶会 (希望の家にて)) の開催

オ 金銭授受支援 (Cafe ポリジ・飲料訪問販売、ちょこっとランチ販売)

カ Cafe ポリジ「木陰マルシェ」の運営 (テント・タープ設営スタッフ)

(4) 社会見学

Gフレンドリーリサイクル工場、大王わさび農場、安曇野ワイナリー見学
善光寺、仲見世通り

(5) バザー等地域行事への参加

マルシェ、販売会、イベントを通して地域の方々と交流し、互いの違いや思いにふれあい、認めあうことで、日常でも関わりが持てるように継続した関係づくりに取り組みました。

①Cafe ポリジ「木陰マルシェ」

②芳川公民館主催「まるっと青空市」での地域交流

③「身近な地域のまるごと交流会」（児童・高齢者・障がい者との交流）

夏まつり共同開催、サーカス鑑賞（ジャグリング体験）

(6) 利用者懇談・保護者との個別面談

(7) 実習生及びボランティアの受入れ

ア 実習生の受入れ（松本養護学校、寿台養護学校）

イ 木陰マルシェや自主生産活動作業での地域ボランティアと交流

ウ 在宅、または移行利用希望者の見学

エ 松本短期大学（介護・保育）学生の実習受入れ

(8) 年間行事

4月 仕事始め

6月 避難誘導訓練（自衛消防訓練）

7月 社会見学「Gフレンドリーリサイクル工場、大王わさび農場、安曇野ワイナリー見学」

10月 ふれあいまつり

11月 健康相談

社会見学「善光寺、仲見世通り、長野市立博物館見学」

12月 年末おつかれ様会、大掃除

3月 大掃除、年度末おつかれ様会、年度末棚卸

(9) 在籍者数（令和6年3月31日現在）

【障害区分別】（単位：人）

障害区分	男	女	計
知的障害者	11	6	17
身体障害者（知的重複）	1	2	3
精神障害者（知的重複）	0	0	0
その他	0	0	0
計	12	8	20

【年齢別】（単位：人）

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	4	4	8
30～39歳	3	3	6
40～49歳	4	1	5
50歳以上	1	0	1
計	12	8	20

(10) 開所日数・利用者数

年度	開所日数	通所延べ人数	登録人数	1日平均利用人数
5	242日	4,395人	20人	18.2人
4	237日	4,413人	21人	18.6人
3	240日	4,287人	19人	17.9人

(11) 運営費収入の状況（送迎代等含む。前年比91,531円の増）

1日平均利用者数は減少しましたが、開所日数が多かったため微増でした。

年度	訓練等給付費 (円)	利用者負担金 収入 (円)	計 (円)	増減率 (%)
5	32,786,383	103,058	32,889,441	0.3
4	32,693,910	104,000	32,797,910	15.8
3	28,208,170	124,600	28,332,770	0.5

岡田希望の家（市指定管理）

(1) 事業所目標

「仲間とともに 働く幸せ 人に役立つ幸せ 明るく 楽しく あきらめず」

(2) 事業内容

ア 受託事業

(ア) 民間企業からの受注作業（8社）

・お土産のバーコード、タグ付け、梱包・封入、プラダン組立て等

(イ) 合同庁舎清掃50回（月3～5回）

(ウ) 農福連携（1社）

・いちごハウスの清掃、アスパラ畑の草取り、芝生の草取り

イ 自主生産事業

(ア) リサイクル事業

・アルミ缶回収・牛乳パック、新聞紙、段ボール、雑誌の回収

(イ) 自主製品の製作・販売

・製作品

手芸作品（猫ティッシュケース、ねこはんてん、刺し子ふきん等）

染色品（草木染め・藍の生葉染めショール・草木染め・藍の型抜きハンカチ等）

・委託販売

旧開智学校校舎、時計博物館、鎌倉市福祉施設店舗スーク、
浅間温泉ホテル玉の湯

・販売活動

浅間温泉にこにこ市、合同庁舎・木陰マルシェ販売

・講習会の実施 年1回

ウ 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
5	4,050,204	3.5	3,693,209	5.6
4	3,915,074	21.8	3,498,930	17.6
3	3,215,310	25.0	2,975,570	33.4

(ア) 令和5年度平均工賃単価

一人あたり 19,356円/月（令和4年度：17,897円/月）

(イ) 増額の理由

利用者の作業能力が向上したことで、難しい作業や細かい作業に取り組むことができ、昨年度より多くの受注量をこなすことができました。

また、観光関係企業の受注量が増加したことや、リサイクル庫（集積用倉庫）を利用して地域の方から資源物を多く提供していただいたため、リサイクル事業の安定供給につながりました。

エ その他の活動

(ア) 生活支援

- ・ラジオ体操（毎日）、散策
- ・料理実習昼食作り（年4回）、みそ汁作り（随時）

(イ) 行 事

- ・ふれあいまつり（ステージ発表、展示・販売、利用者による似顔絵コーナー）
- ・社会見学、忘年会
- ・リフレッシュの日・・・利用者自らが企画、実行（実施4回）
- ・岡田夏まつり地域交流会、染色の会の開催及びボランティア交流会

(ウ) 利用者及び保護者との懇談、相談支援（随時）

(エ) 実習生・ボランティア、見学受入れ

- ・個人、団体ボランティア受入れ
- ・長野県寿台養護学校高等部3年実習生 1名
- ・長野県寿台養護学校高等部1年実習生 1名
- ・長野県寿台養護学校高等部3年実習生 1名
- ・松本短期大学保育課1年実習生 2名

(オ) 健康診断

健康チェック（年1回 身長、体重、血圧、検尿）

(カ) 保護者会：保護者会主催

- ・保護者会（年3回、1回は延期）
- ・松本市及び松本市社会福祉協議会への要望書提出

(キ) 職員研修

- ・ケース検討
- ・障害者虐待防止
- ・メンタルヘルス研修
- ・工賃向上計画セミナー

- ・個別支援計画作成および引用に関する研修会
- ・業務継続計画（BCP）策定研修
- ・意思決定支援研修
- ・松本圏域障がい者虐待防止研修
- ・社会福祉法人の決算書読み方講座
- ・長野県自立支援協議会フォーラム
- ・長野県自立支援協議会就労支援部会研修会

(3) 年間行事

月	主な行事
4月	・リフレッシュの日（アルプス公園花見・散策）・保護者会・健康チェック
5月	・社会見学
6月	・保護者会・避難訓練・リフレッシュの日（どこでもスポーツ・運動教室） ・スマイル山雅農業プロジェクト（青大豆あやみどりの種まき）
7月	・灯ろう作り交流会 ・岡田夏まつり参加
8月	・リフレッシュの日（トランプ大会）
9月	・夏の食事会 ・ワックス掛け
10月	・秋の食事会 ・ふれあいまつり ・煙道訓練
11月	・社会見学
12月	・忘年会
1月	・リフレッシュの日（ボランティア交流会）染色品販売会
2月	・染色パネル展示販売会
3月	・保護者会 ・リフレッシュの日（ボーリング大会）

(4) 在籍者数（令和6年3月31日現在）

【障害区分別】 (単位：人)

障害区分	男	女	計
知的障害	10	1	11
身体障害（知的重複）	2	4	6
精神障害（知的重複）	0	1	1
その他	0	0	0
計	12	6	18

【年齢別】 (単位：人)

年齢	男	女	合計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	7	1	8
30～39歳	1	2	3
40～49歳	3	3	6
50～59歳	1	0	1
計	12	6	18

(5) 開所日数・利用者数

年度	開所日数	通所延人数	登録人数	1日平均 利用人数
5	240日	3,800人	18人	15.8人
4	237日	3,771人	17人	15.9人
3	240日	3,789人	17人	15.8人

(6) ボランティアの来所状況

年度	来所延人数	月平均の 来所人数
5	98人	16人
4	0人	0人
3	0人	0人

※ 2～4年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、ボランティアの受入れを制限しました。

(7) 運営費収入の状況（前年度比 2,403,004円の増）

令和4年度は主従関係にあった希望の家と分離し、単独事業所として事業指定を受けたことにより、新規事業所扱いとなり前期は加算を受けられませんでした。5年度は通年で加算を受けられたことから、4年度より増収となりました。

年度	訓練等給付費 (円)	利用者負担金 収入 (円)	計(円)	増減率(%)
5	29,132,568	239,980	29,372,548	8.9
4	26,742,394	227,150	26,969,544	7.1
3	24,942,605	241,700	25,184,305	△2.1

障がい者就労センター・はた（市指定管理）

(1) 事業所目標

「雨にも負けず 風にも負けず 太陽と緑と笑顔の仲間たち」
《合言葉》 「みんなでやれば なんでもできる
できる！ できる！ やればできると信じよう！」

(2) 作業訓練

ア 自主生産

- ・農業（借用している畑1, 500㎡とブルーベリー園及びハウス2棟で、生産の安定化と冬場作業を実施。なすの契約栽培による販売ルートの確保）
※ 令和5年度は、従来からの波田学校給食センターに加え、安曇小中学校へも野菜を納品しました。
- ・木工（木べら、菜箸、スプーン、鍋しき、竹とんぼ等）
- ・縫製（牛乳パック再利用のスツール、雑巾、手織りマット、ペンの友等）

- ・資源回収（アルミ缶、新聞紙、段ボール、牛乳パック、雑誌、チラシ広告、その他紙類、一升瓶、ビール瓶）
- ・トイレットペーパー販売（牛乳パックと交換）
- ・石焼き芋（10月～3月）
- ・販売会
 - ポリジ木陰マルシェ 4月から3月 延べ8回
 - 第1回はた収穫祭 8月24日（木）
- ※ 初めて、事業所単独での販売会を開催しました。
- ふれあいまつり 10月14日（土）
- 波田地区福祉ひろばまつり 10月15日（日）
- 波田文化祭 10月28日（土）・29日（日）
- ・常設販売（波田保健福祉センター正面玄関、カフェ・ポリジ、風穴の里）

イ 受託加工

- ・部品加工等
 - (株)プラルト、(有)犬飼工業、ケラッタ(株)、(株)しんえこ、キッセイコムテック(株)、(公財)自然農法国際研究開発センター、(株)八十二銀行波田支店、(有)あづみ野食品【新規】、(株)コトブキパック【新規】

ウ 施設外就労

- ・松本市波田保健福祉センターの清掃（松本市西部福祉課）
- ・花壇整備（スカイパーク）
- ・りんご園での摘果と葉摘み（太田農園）
- ・りんごの箱詰め（JA松本ハイランド果実共選所）
- ・ネギ畑での草取り（中平ネギ園）

(3) 生活訓練

- ・ラジオ体操
- ・ミーティング（順番で進行役、作業と生活の反省や課題を話し合う）
- ・生活雑事（順番でお茶当番、ゴミ当番を実施）

(4) 社会訓練

- ・社会見学 5月26日（金）原田泰治美術館といちご狩り
10月 6日（金）平出遺跡での古代体験とぶどう狩り

(5) クラブ活動

平日で0の付く日（10日、20日、30日）の午後に実施
内容は、軽運動、カラオケ、ゲーム、読書、ぬり絵、七夕短冊づくり等
本年度は、利用者が通所したくなる事業所づくりをめざして、クラブ活動にあわせ各種取組みを実施

- 5月30日（火）ごみゼロ運動（周辺道路のごみ拾い）
- 6月30日（金）歯の健康出前講座
- 8月30日（水）国道158号狸平トンネル建設現場見学

(6) 行事

- 4月10日（月）お花見（波田夫婦堤）
- 12月19日（火）クリスマス会
- 1月 4日（木）仕事初めの会
- 1月30日（火）豆まき

(7) 健康相談

男女別に隔月で、松本市西部保健センター保健師による相談を実施
身長、体重、血圧測定と相談

(8) ボランティア・実習生・視察の受け入れ

<実習生>

・松本養護学校高等部2年1名（春秋計14日間）

※ 個人、団体ボランティア 受入れなし

(9) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
5	5,458,614	2.2	4,342,555	3.7
4	5,346,622	△5.0	4,185,748	△4.2
3	5,625,696	△12.2	4,370,410	△17.1

令和5年度平均工賃単価

一人あたり 12,164円/月（令和4年度：12,311円/月）

(10) 在籍者数（令和6年3月31日現在）

【障害区分別（重複障害含む）】（単位：人）

障害区分	男	女	計
知的障害者	8	4	12
身体障害者	3	0	3
精神障害者	6	4	10
重複障害者	2	2	4
合計	19	10	29

【年齢別】（単位：人）

年齢	男	女	合計
20歳未満	2	0	2
20～29歳	4	3	7
30～39歳	3	2	5
40～49歳	3	0	3
50～59歳	2	3	5
60歳以上	5	2	7
計	19	10	29

(11) 開所日数・利用状況（登録人数は令和6年3月31日）

養護学校高等部卒業生が4月に2名、年度中途に1名入所した一方、11月と1月に各1名が自己都合により退所しました。

年度	開所日数	登録人数	通所延人数	1日平均利用人数
5	240日	29人	5,170人	21.5人
4	240日	28人	4,909人	20.5人
3	240日	27人	4,946人	20.6人

(12) 運営費収入の状況

令和5年度は、登録人数、通所延人数の増加により増収となりました。

年度	訓練等給付費 (円)	利用者負担金 (円)	合計 (円)	増減率 (%)
5	34,880,142	198,838	35,078,980	4.7
4	33,296,531	214,676	33,511,207	△4.0
3	34,721,332	168,491	34,889,823	△18.3

南ふれあいホーム（市指定管理）

(1) 事業所目標

「あたりまえのことが あたりまえにでき じりつ（自立・自律）できる自分になれる。」

※『自立』とは自分で考えて選択や行動ができること、また『自律』とは自分で決めたルールに従って行動できることです。本人が望む生活ができるように支援を行います。

(2) サービス提供の内容

サービス管理責任者が作成した「個別支援計画」に基づき、利用者の同意を得てサービスを提供しました。

サービスの種類	サービスの内容
相談及び援助	利用者が希望する生活や心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を実施しました。 ①利用希望者等からの相談、面接、見学、体験 ②利用者からの日常的な相談、面接 ③利用者の個別支援計画作成のための面接（基本的に6ヶ月毎） ④利用者の病状など他支援者との連携
作業訓練	自主生産、受託作業等を通じ生産活動機会を提供し、合わせて一般就労に必要な知識の体得、能力の向上のための訓練を実施し、必要な便宜を図りました。 ① 自主生産 【食 品】クッキー、パン、山型食パン等 【縫製品】刺し子、布袋等 【材料購入】クッキー、パン等及び縫製品の材料購入（職員と一緒に店舗にて買い物をする） ②自主製品の販売先 総合社会福祉センター、JA、神林地区（出張サロン販売） 松南地区・芳川地区（地区行事での販売）岡田希望の家、 希望の家、なんぷくプラザ、ポリジ・マルシェ、予約販売等

	<p>③受託作業（受託企業は6社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業製品（ボンド付）、段ボール紙、厚紙製品（ボンド付、テープ貼り、組立て等） ・菓子製品の箱折り、ボンド付、ウレタン貼り、パッケージ関係（紙袋へのひも付け、シール貼り等）、贈答タオル梱包 <p>※「工賃」の支払いについて 上記生産活動の収入から必要経費を引いた額に相当する金額を工賃として生産活動に従事した利用者に支払いました。</p>
健康管理	<p>利用者から健康状態の聞き取りや健康相談を行う等、健康保持のため適切な支援を実施しました。 （主治医、保健センター保健師と連携）</p>
生活訓練	<p>施設内清掃や各種当番等を担うことで、日常生活に必要な知識の体得、能力向上をめざしました。</p> <p>①朝、夕のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席者、作業予定、作業分担、行事・制度、規律等の連絡 ・作業時間の集計等 <p>②日常的な生活訓練・指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係、セルフケア、金銭管理、制度利用 ・食事、睡眠、服薬、通院等の指導と健康管理 ・各種当番制（ミーティングの司会、お茶関係、静養室清掃） ・施設内清掃の実施 等
社会訓練	<p>社会見学（6月2日(金)クリーンセンター見学、松本市美術館観覧）、交流会（マルシェの見学と買い物による他施設との交流、サークル活動ミニコンサートでの希望の家との交流）各種行事等への参加を通じ、社会生活に必要な知識の体得、能力向上のための必要な訓練を行い、必要な便宜を図りました。</p>
サークル活動等	<p>① 各種サークル活動を通じ、コミュニケーション、レクリエーション、リフレッシュ、自信回復、体力回復、外出等の機会を提供しました。（お花見、ニュースポーツ、ミニコンサート、外食等）</p> <p>② 聴覚障がいをお持ちの利用者とのコミュニケーションを図るため、毎日朝会で手話講座を行っています。</p>

(3) 在籍者数（令和6年3月31日現在）

【男女別】

男	女	合計
19人	17人	36人

【年齢別】（単位：人）

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	1	4	5
30～39歳	0	5	5
40～49歳	4	1	5
50～59歳	6	4	10
60歳以上	8	3	11
合計	19	17	36

【一年間の動向】

新規契約者 6名
 契約解除者 5名
 （内訳：他施設利用等）

(4) 利用状況

【開所日数、利用者通所人数】

年度	開所日数	利用者延人数	1日平均通所人数
5	243日	4,314人	17.8人
4	241日	4,159人	17.3人
3	240日	4,067人	16.9人

【ボランティアの来所】

年度	来所延人数	月平均の来所人数
5	0人	0人
4	0人	0人
3	0人	0人

※3～5年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティアの受入れを中止しました。

(5) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入(円)	増減率(%)	工賃支給額(円)	増減率(%)
5	8,072,475	12.3	6,335,200	9.7
4	7,186,226	11.7	5,774,215	9.6
3	6,431,083	△10.8	5,270,560	△5.6

ア 令和5年度平均工賃単価

一人あたり 18,858円/月(令和4年度:19,164円/月)

イ 増額の理由

受託事業では、昨年度末から自動車関連作業の減少等マイナス要素が続いていますが、丁寧な仕事と納期を守ることで、仕事量と収入を確保することができました。自主事業では、地域との連携で販売機会を増やすことに成功し、パンだけでなく菓子・縫製品の収入につながりました。

(作業収入:前年比886,249円の増)

(工賃支給額:前年比560,985円の増)

(6) 運営費収入の状況

新規通所者が6名のうち5名は安定した通所につながっています。また、長期療養や入院を経て復活した利用者もいます。令和5年度は見学者・体験者を積極的に受け入れ新規利用者の確保に努めるとともに、現利用者の通所モチベーションアップに取り組んだ結果、運営費収入は増収となりました。

(前年比1,932,964円の増)

年度	訓練等給付費(円)	利用者負担金収入(円)	計(円)	増減率(%)
5	31,869,269	214,413	32,083,682	6.4
4	30,070,327	80,391	30,150,718	1.3
3	29,663,205	99,108	29,762,313	△10.4

(7) 実習生の受入れについて(延32人)

信州大学医学部看護学科 30人、松本短期大学生 2人

北ふれあいホーム（市指定管理）

（１）事業所目標

き	きもちを1つに思いやり
た	たすけあいの心をもつ
ふ	ふんばってあきらめずチャレンジする心
れ	レベルアップを目指す
あ	あかるく たのしく
い	いつも元気で自分らしく

（２）事業内容

サービス管理責任者が作成した「個別支援計画」に基づき、利用者の同意を得てサービスを提供しました。

ア 作業内容

作業の種類	作業の内容
作業訓練	<p>自主生産、受託作業等を通じ、生産活動の機会を提供し、合わせて一般就労に必要な知識、能力の向上のための必要な訓練、その他の便宜を適切かつ効果的に実施</p> <p>※工賃の支払いについて 上記生産活動における事業収入から必要経費を差し引いた額に相当する金額を工賃として、生産活動に従事している利用者に支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主生産 <ul style="list-style-type: none"> ・パン製造・販売 ・ラスク・パウンドケーキの製造販売 ○自主製品の販売活動 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗販売、注文販売 ・訪問販売（各地区福祉ひろば、市役所、総合社会福祉センター、各地区センター、なんぷくプラザ、松本信用金庫等） ・イベント販売 （各地区ふれあいまつり、木陰マルシェ・おひさまマルシェ等） ○受託作業 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関係 2社 ・会報等発送作業 2社 ・段ボール製品 1社 ・おみやげ品 1社 ・その他不定期封入作業等
実習及び求職活動等の支援	<p>必要に応じて、障害者就労・生活支援センター等の関係機関と連携を取りながら会社説明会への参加の支援を実施</p> <p>就労準備… 就労形態の説明、障害者手帳の申請支援、医療機関との連携、就労支援センターの補助（今年度就労実績… 1名）</p>
健康管理	<p>利用者より健康状態の聞き取りや健康相談を行うなど健康保持のための適切な支援を実施</p>

イ その他訓練内容

訓練の種類	訓練の内容
生活訓練	<p>施設内清掃や各種当番等を通じ、日常生活に必要な知識の体得、能力をめざしました。</p> <p>①朝、夕のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠席者連絡・作業予定の連絡・分担決め ・行事・制度・規律等の連絡・記録 ・作業時間の集計等 <p>②日常的な生活訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係・セルフケア・金銭管理・制度利用・食事・睡眠・服薬・通院等の助言及び指導 ・各種当番の実施(ミーティング当番、洗濯当番工房掃除) ・施設内清掃の実施
社会訓練	<p>社会見学、各種行事等を通じ、社会生活に必要な知識、能力の向上のための必要な訓練を行い、その他便宜を適切かつ効果的に実施</p> <p>参加費等、利用者負担が適当であるものについては費用を頂きました。</p> <p>社会見学：7月21日(諏訪方面)</p>
健康管理	<p>利用者より健康状態の聞き取りや健康相談を行うなど健康保持のための適切な支援を実施</p>

(3) 在籍者数(令和6年3月31日現在)

【男女別】

男	女	合計
20人	8人	28人

【年齢別内訳】

(単位：人)

年齢	男	女	計
20歳未満	0	1	1
20～29歳	4	2	6
30～39歳	0	0	0
40～49歳	5	0	5
50～59歳	6	3	9
60歳以上	5	2	7
合計	20	8	28

(4) 利用状況

利用登録者の2名増及び新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、これまでの通所への不安を抱く利用者の欠席や半日通所者が減少し、利用者の1日平均通所人数が増加となりました。

(1日平均通所人数：前年度比1.5人増)

【開所日数、利用者通所延人数】

年度	開所日数	利用者通所延人数	1日平均通所人数
5	245日	4,919人	20.1人
4	242日	4,574人	18.9人
3	240日	4,664人	19.4人

【ボランティアの来所】

年度	来所延人数	月平均の来所人数
5	17人	2.4人
4	0人	0人
3	0人	0人

※3～4年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティアの受入れを中止しました。

(5) 相談、面接業務

通所面談、指導員による相談（毎日の生活の中での相談）

- ア 利用者が希望する生活や心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を実施
- イ 利用希望者等からの相談、面接、見学、体験
- ウ 利用者からの日常的な相談、面接
- エ 利用者の個別支援計画作成のための面接（基本的に6ヶ月毎）

(6) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
5	9,033,637	△2.3	6,521,815	6.2
4	9,243,764	△13.2	6,139,885	△16.3
3	10,647,476	△6.3	7,332,440	2.3

ア 令和5年度平均工賃単価

一人あたり 20,770円/月（令和4年度：20,813円/月）

イ 減額の理由

自動車の減産による自動車部品関係の受託量が減ったため。

(7) 運営費収入の状況

利用者の1日平均通所人数の増加及び一般就労移行（1名）による就労移行支援体制加算が加わり運営費が増収となりました。

（前年度比 6,399,656円の増）

年度	訓練等給付費（円）	利用者負担金収入（円）	計（円）	増減率（％）
5	40,769,735	133,550	40,903,285	18.6
4	34,370,079	130,269	34,500,348	△1.5
3	34,898,323	135,567	35,033,890	△6.1

(8) 視察及び実習の受入れ

- ア 信州大学医学部保健学科看護学専攻実習 35名
- イ 松本短期大学幼児保育学科実習 3名
- ウ 寿台養護学校キャンパス高等部実習 3名
- エ 福祉の職場体験（高校生） 2名
- オ 島立小学校職業体験 2名

❖ 共同生活援助事業

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業所として、地域で共同生活を営むことが可能な知的・精神障害者に対して、住環境を整備して生活の場を提供し、日常生活の支援や相談支援を行いました。

グループホーム井川城（愛称 にじの家）

（１）事業所目標

楽しくて心おちつくにじの家

（２）サービス提供の内容

ア 個別支援計画の作成・見直し

入居者及び家族と面談を行い個別支援計画を作成。また、計画の実施状況を把握し、定期又は必要に応じて見直し。

イ 個別ケア会議への参加

地域でいきいきと生活できるよう、個々の入居者のケア会議へ参加し、必要に応じて他事業所の相談支援員等と連携

ウ 日常生活上の支援

（ア）個別支援計画に基づく、世話人による体調管理（検温、血圧）、服薬管理、食事提供、金銭管理、個々のニーズと障害特性に沿った支援

（イ）安心して共同生活が送れるよう相談支援を随時実施

（ウ）健康維持支援の一環として通院同行を実施

（エ）通勤経路の見直し・新しい通勤経路の同行支援

エ 余暇活動支援

外食やレクリエーション等余暇活動支援、地域の行事・河川清掃の参加等

オ 帰宅時支援

土日祝日の帰省時、ご家族との連携および利用者の居宅等における生活状況の把握

（３）行事

誕生日会（誕生日）、河川清掃（４月）、クリスマス会（１２月）、避難訓練（１０月・３月）

（４）入居者数・利用状況（令和６年３月３１日現在）

【入居者の内訳】（単位：人）

年齢	男	女	計
２０～２９歳	０	１	１
３０～３９歳	２	０	２
４０～４９歳	１	０	１
５０～５９歳	１	０	１
６０～６９歳	０	１	１
合計	４	２	６

【開所日数、利用者数】

年度	開所日数	利用延人数	1日平均利用者数
5	366日	1,529人	4.2人
4	365日	1,684人	4.6人
3	365日	1,871人	5.1人

(5) 運営費収入の状況

ア 入居状況

令和5年度末 6名（定員6名） （4年度末6名）

イ 減額の理由

- ・入居者1名について、新たな障がいによる体調不良が続き、入居生活ができなくなった日が増加
- ・入居者1名が急に入院し、10月に退所
- ・過誤修正（帰宅時支援加算）の返戻による減額

年度	訓練等給付費 (円)	家賃収入 (円)	収入合計 (円)	増減率 (%)
5	4,875,651	692,000	5,567,651	△10.9
4	5,526,632	720,000	6,246,632	△13.2
3	6,479,785	720,000	7,199,785	5.6

グループホーム水汲（愛称 つむぎの家）

(1) 事業所目標

笑顔で帰ってきてほっとできる場所、それが「つむぎの家」

(2) サービス提供の内容

ア 個別支援計画の作成・見直し

入居者及び家族と面談を行い個別支援計画を作成。また、計画の実施状況を把握し、定期又は必要に応じて見直し。

イ 個別ケア会議への参加

地域でいきいきと生活できるよう、個々の入居者のケア会議へ参加し、必要に応じて他事業所の相談支援員等と連携

ウ 日常生活上の支援

(ア) 個別支援計画に基づく、世話人による体調管理（検温、血圧）、服薬管理、食事提供、金銭管理、個々のニーズと障害特性に沿った支援

(イ) 安心して共同生活を送れるよう相談支援を随時実施

(ウ) 健康維持支援の一環として通院同行を実施

(エ) 移動支援内容・通院結果の保護者への連絡

(オ) 買い物同行と支援

エ 余暇活動支援

レクリエーション等余暇活動支援、地域の行事・公民館清掃の参加など

オ 帰宅時支援

土日祝日の帰省時、ご家族との連携および利用者の居宅等における生活状況の把握

(3) 行事

誕生会（該当月）、河川清掃（5月）、クリスマス会（12月）、節分会（2月）、避難訓練（10月・3月）

(4) 入居者数・利用状況（令和6年3月31日現在）

【入居者の内訳】（単位：人）

年齢	男	女	計
20～29歳	0	1	1
30～39歳	1	1	2
40～49歳	1	0	1
50～59歳	0	0	0
60歳～	1	0	1
合計	3	2	5

【開所日数、利用者数】

年度	開所日数	利用延人数	1日平均利用者数
5	366日	1,600人	4.4人
4	365日	1,188人	3.3人
3	234日	659人	2.8人

(5) 運営費収入の状況

ア 入居状況

令和5年度末 5名（定員6名）（4年度末5名）

イ 増額の理由

利用者のほとんどが帰省せず毎日グループホームを利用したことで、利用延人数が増え増収につながりました。（前年度比：1,251,972円の増）

年度	訓練等給付費 （円）	家賃収入 （円）	収入合計 （円）	増減率 （％）
5	6,243,504	610,000	6,853,504	22.4
4	5,110,532	491,000	5,601,532	87.3
3	2,715,154	275,000	2,990,154	—

6 施設の管理運営

複合施設の管理運営

松本市からの指定管理者の指定又は管理運営の受託により、施設の維持管理、貸館、総合案内等の業務を実施しました。

(1) 開館日数・利用者数

施設名	年度	開館日数	延利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
総合社会福祉センター (指定管理)	5	348	63,340	182.0
	4	347	59,538	171.6
	3	347	59,830	172.4
梓川福祉センター (指定管理)	5	293	7,459	25.5
	4	294	5,774	19.6
	3	293	4,901	16.7
北部福祉複合施設 「ふくふくらいず」 (受託)	5	366	39,083	106.8
	4	365	39,123	107.2
	3	365	50,809	139.2

(2) 松本市総合社会福祉センターふれあいまつり

当センターを利用する障がい者（児）と、支える側の関係者・地域住民が一堂に会し、笑顔と希望を育み、より一層の交流・親睦を図ることを目的に毎年開催。23回を重ねた令和5年度には、約500名の参加者がありました。

7 団体の運営・活動支援

共同募金・日赤事業の推進

- (1) 各町会を通じてお願いをしている赤い羽根共同募金や日赤活動資金の取りまとめについて、町会連合会の主導による集金方法等についてのアンケートを行い、様々なご意見をいただきました。上部団体である長野県共同募金会から示された留意事項を要約し、町会連合会常任理事会で提示しました。

日赤活動資金では、前年度納入実績があった方等に作成している「日赤活動資金申込書・領収書」について、納入実績や納入額の記載を見直すなど、個人情報等に配慮しました。

- (2) 共同募金事業 (単位：千円)

共同募金 目標額	募金実績	目標達成率 (%)	令和6年度の配分予定額		
			市社協	地区社協	計
32,735	31,480	96.2	6,338	9,209	15,547

- (3) 日赤事業 (単位：千円)

日赤活動資金 目標額	募集実績	目標達成率 (%)	令和5年度の配分額		
			市地区全体	(市地区全体のうち)	
38,360	22,051	57.5	5,155	分区(地区)分	2,245
				奉仕団分	1,084

福祉団体の支援並びに連携

- (1) 社会福祉事業助成事業

共同募金事業の市社協配分金を活用し、社会福祉の推進に取り組む団体に対し活動費等を助成しています。

福祉団体7団体 210千円(1団体30,000円)

- (2) 福祉団体との連携

ア 民生委員・児童委員協議会

(ア) 民生委員・児童委員協議会に対して、地域福祉、在宅福祉の推進のため、事務局事務など活動への支援・協力をしました。

(イ) 民生児童委員協議会の100周年として行った記念式典の実施、記念誌の発行、記念品の配布について支援しました。

イ その他、松本市社会福祉協議会内に事務局を置く団体

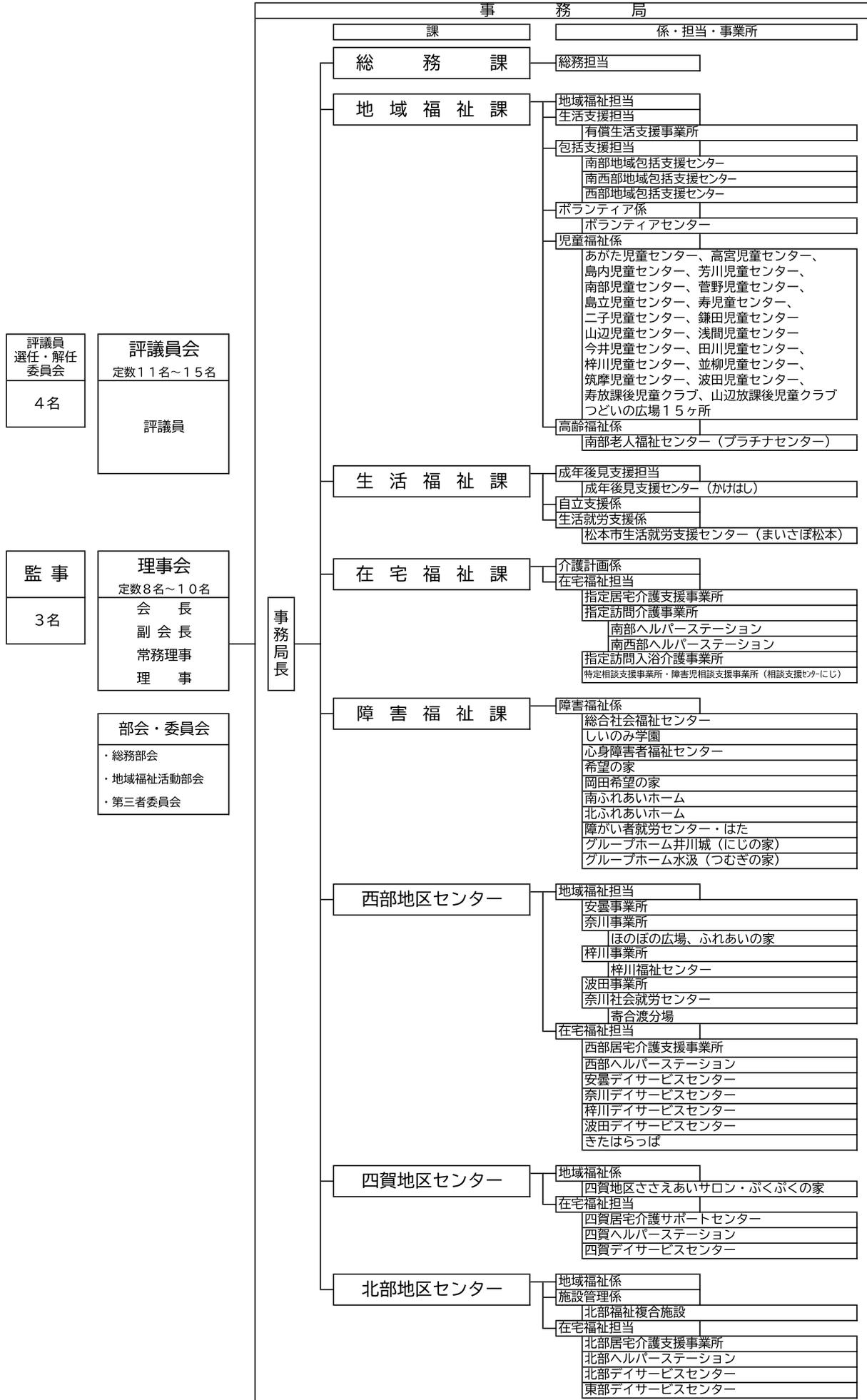
松本市高齢者クラブ連合会、松本市身体障害者福祉協会、松本市赤十字奉仕団、松本地区保護司会、松本市遺族会、松本市ひとり親家庭福祉会、松本市しいのみ会

附属資料



社会福祉法人 松本市社会福祉協議会組織図

令和5年4月1日現在



令和5年度 松本市社会福祉協議会職員配置表

令和5年4月1日現在

単位:人

課	係	職員配置数			合計
		正規	嘱託	臨時※	
事務局	事務局長・事務局次長	0	2	0	2
総務課	総務担当	3	4	1	8
地域福祉課	地域福祉担当	6	2	0	8
	生活支援担当	2	34	1	37
	包括支援担当	5	5	2	12
	児童福祉係	0	3	0	3
	児童センター (放課後児童クラブ・ つどいの広場を含む)	0	61	35	96
	高齢福祉係	0	1	1	2
	計	13	106	39	158
生活福祉課	成年後見支援センター	5	3	0	8
	自立支援係	2	2	2	6
	生活就労支援係	2	3	0	5
	計	9	8	2	19
在宅福祉課	介護計画係	3	0	1	4
	在宅福祉担当	17	14	6	37
	計	20	14	7	41
障害福祉課	障害福祉担当	8	18	28	54
西部地区センター	地域福祉担当	5	3	3	11
	在宅福祉担当	21	14	30	65
	計	26	17	33	76
四賀地区センター	地域福祉担当	0	2	1	3
	在宅福祉担当	8	6	10	24
	計	8	8	11	27
北部地区センター	地域福祉担当兼施設管理担当	0	2	0	2
	在宅福祉担当	12	15	31	58
	計	12	17	31	60
合計		99	194	152	445
令和4年4月1日現在		101	191	177	469
令和3年4月1日現在		97	184	184	465
令和2年4月1日現在		97	186	174	457

※臨時職員：第1種及び第2種臨時職員

松本市社会福祉協議会 苦情（利用者の声）対応件数（年次集計）

1 申出者

	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者（家族含む）・参加者 （うち匿名）	5 (1)	6 (3)	1	5 (2)	4 (1)
その他 （うち匿名）	3 (3)	3 (3)	6 (4)	5 (5)	5 (5)
合計	8	9	7	10	9

2 苦情の内容（複数該当あり）

	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
職員の態度・言動	6	9	3	5	2
サービスの内容				1	3
施設・設備					
車両の運行	1		5	1	4
被害、損害の補償	1		1	1	2
運営体制	3		1	3	1
事務処理					
その他				1	1
合計	11	9	10	12	13

3 苦情の原因（複数該当あり）

	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
職員	態度・言動	5	5	3	5	1
	技術不足、知識不足		1	1		1
	不注意・失念			5	1	5
運営	説明不足	1			1	1
	サービス・事業内容					
	施設・設備					
	運営体制	1			2	1
申出者	事務処理		1			
	誤解、勘違い		1		2	
その他	過度な要求				2	
	協議中・係争中					
その他・不明（事実確認できず）	1	2	1	1	2	
合計	8	9	11	14	11	

4 苦情のレベル

	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
意見・要望	5	7	3	6	2
要求・請求	3	2	4	4	7
その他（調停・訴訟）					
合計	8	9	7	10	9

5 対応（複数該当あり）

	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
申立者	説明、報告	6	3	4	4	6
	謝罪	3	3	4	1	7
	補償・賠償					2
	匿名のため対応なし	1	6	3	7	2
事業所内	職員への指導、情報共有	7	9	5	10	9
	職員の担当替え、異動		2	1	2	1
	施設・設備の改善					
	運営体制・事務の改善	1		1	2	1
その他						
第三者委員会対応						
協議中・係争中（年度末時点）						
合計	18	23	18	26	28	

令和5年度 つむぎちゃんプラン助成金 確定一覧表

地区名	報告日		1地区課題の把握・解決事業		2 見守り・支え合い事業		2-1 マップ作成事業			3 地域ふれあい推進事業		3-1地域ふれあい推進事業			4 ボランティア等人材育成事業		5 住民学習サポート事業		6 住民主体事業		合計		
			役員研修 連絡会議 住民福祉意識調査		地区		町会			地区		町会			地域ボランティア活動		地区社協だより 福祉懇談会・福祉講座 介護者支援事業		住民主体の福祉活動				
	月	日	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	町会数	確定額	決定額	確定額	決定額	町会数	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	
第一	2	2	29						40,000	40,000						70,000	70,000			110,000	110,000		
第二	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	60,000	3	60,000	40,000	40,000	36,000	2	27,000	50,000	50,000	70,000	70,000	118,000	118,000	414,000	405,000
第三	8	2	26	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	153,000	8	153,000	50,000	50,000	70,000	70,000	124,000	124,000	497,000	497,000
東部	7	2	29	20,000	20,000	15,000	15,000				20,000	20,000	252,000	12	252,000	50,000	50,000	40,000	40,000	80,000	80,000	477,000	477,000
中央	8	3	18	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	231,000	11	231,000	50,000	50,000	70,000	70,000	115,000	115,000	566,000	566,000
城北	8	2	26	20,000	20,000	20,000	20,000	120,000	6	120,000	40,000	40,000	147,000	7	147,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	667,000	667,000
安原	8	3	19	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	135,000	8	135,000	50,000	50,000	70,000	70,000	145,000	145,000	500,000	500,000
城東	8	2	26	20,000	20,000	20,000	20,000	240,000	12	240,000	40,000	40,000	156,000	12	156,000	50,000	50,000	70,000	70,000	114,000	114,000	710,000	710,000
白坂	7	2	29			20,000	20,000	100,000	5	100,000	40,000	40,000	225,000	10	219,000	50,000	50,000	70,000	70,000	177,000	177,000	682,000	676,000
田川	7	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	40,000	210,000	10	210,000	50,000	50,000	70,000	70,000	70,000	70,000	138,000	138,000	548,000	548,000	
庄内	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	60,000	3	60,000	40,000	40,000	175,000	9	175,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	635,000	635,000
鎌田	2	2	27					160,000	6	120,000			243,000	13	237,000							403,000	357,000
松南	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	180,000	9	180,000	40,000	40,000	189,000	9	189,000	50,000	50,000	70,000	70,000	167,000	167,000	736,000	736,000
島内	8	2	22	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000	4	80,000	40,000	40,000	280,000	16	276,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	760,000	756,000
中山	4	3	8			20,000					40,000	40,000	126,000	6	76,342			20,000	20,000	99,000	99,000	305,000	235,342
島立	7	2	29			20,000	20,000	60,000	3	60,000	40,000	40,000	150,000	8	150,000	50,000	50,000	70,000	70,000	157,000	157,000	547,000	547,000
新村	8	2	26	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	279,000	14	243,000	50,000	50,000	70,000	70,000	98,000	98,000	597,000	561,000
和田	7	2	20	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	2	40,000			126,000	6	126,000	50,000	50,000	70,000	70,000	108,000	108,000	434,000	434,000
神林	6	2	20			20,000	20,000				40,000	40,000	105,000	5	105,000	50,000	50,000	50,000	50,000	109,000	109,000	374,000	374,000
笹賀	7	2	13	20,000	20,000	20,000	20,000				40,000	40,000	252,000	12	252,000	50,000	50,000	70,000	70,000	191,000	191,000	643,000	643,000
芳川	7	2	29	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	90,000	7	72,000	50,000	50,000	70,000	70,000			310,000	292,000
寿	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	2	40,000	40,000	40,000	105,000	5	105,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	545,000	545,000
寿台	8	2	16	20,000	20,000	20,000	20,000	160,000	8	160,000	40,000	40,000	168,000	8	168,000	50,000	50,000	70,000	70,000	108,000	108,000	636,000	636,000
岡田	6	2	27			20,000	20,000				40,000	40,000	147,000	7	147,000	50,000	26,330	70,000	70,000	143,000	16,772	470,000	320,102
入山辺	6	2	29			20,000	20,000	220,000	6	90,501	40,000	40,000	213,000	7	132,000	30,000	30,000	10,000	10,000			533,000	322,501
里山辺	7	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000				40,000	40,000	189,000	9	189,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	589,000	589,000
今井	8	2	27	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	189,000	9	189,000	50,000	50,000	70,000	70,000	102,000	102,000	511,000	511,000
内田	5	2	28			20,000	20,000				40,000	40,000	168,000	8	168,000	30,000	30,000	70,000	70,000			328,000	328,000
本郷	6	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1		40,000	40,000	144,000	8	111,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	564,000	491,000
松原	8	2	15	20,000	20,000	20,000	20,000	140,000	7	140,000	40,000	40,000	63,000	3	63,000	50,000	50,000	70,000	70,000	90,000	90,000	493,000	493,000
四賀	8	2	29	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	2	40,000	40,000	40,000	336,000	16	336,000	50,000	50,000	70,000	70,000	120,000	120,000	696,000	696,000
安曇	7	2	16	20,000	20,000	20,000	20,000				40,000	40,000	120,000	6	120,000	50,000	50,000	50,000	50,000	71,000	71,000	371,000	371,000
奈川	6	2	8	20,000	20,000	20,000	20,000				40,000	40,000				50,000	50,000	70,000	70,000	61,000	61,000	261,000	261,000
梓川	6	2	21	20,000	20,000						40,000	40,000	316,000	17	316,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	696,000	696,000
波田	8	2	29	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	429,000	22	429,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	849,000	849,000
合計	240			26	26	32	30	23		22	33	33	33		33	32	32	34	34	30	30	243	240
				520,000	520,000	635,000	595,000	1,860,000	86	1,670,501	1,300,000	1,300,000	6,147,000	310	5,904,342	1,560,000	1,536,330	2,200,000	2,200,000	4,235,000	4,108,772	18,457,000	17,834,945

松本市ボランティアセンター
令和5年度 福祉体験学習実施一覧

実施日	実施先	内 容 等
6/14(水)	清水中3年生	ブラインドチャレンジ(視覚障がい体験)
7/20(木)	女鳥羽中	高齢者疑似体験
7/25(火)	深志高校	UDIについて・防災講座
7/26(水)	今井児童センター	アイマスク体験・高齢者疑似体験
7/31(月)	里山辺地区	高齢者疑似体験
8/8(火)	島立地区福祉ひろば	高齢者疑似体験・福祉用具体験
8/21(月)	入山辺地区	車いす体験・アイマスク体験
8/23(水)	島立地区福祉ひろば	高齢者疑似体験
9/8(金)	浅間児童センター	介護保険のお仕事(在宅福祉課と連携)
9/13(水)	山辺小3年生	ブラインドチャレンジ(視覚障がい体験)
9/13(水)	島内小3年生	防災学習
9/15(金)	島内小4年生	車いす体験・UD体験
9/26(火)	島内児童センター	ボランティア学習
9/26(火)	あがた児童センター	車いす体験
9/29(金)	梓川中生徒会	高齢者疑似体験・展示体験・視覚障がい体験
10/10(火)	田川児童センター	車いす体験・アイマスク体験・防災学習
10/11(水)	高宮児童センター	車いす体験・アイマスク体験
10/11(水)	梓川児童センター	UD体験
10/12(木)	開成中1年生、2年生	ブラインドチャレンジ(視覚障がい体験)
10/17(火)	鎌田児童センター	ポッチャ体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験 UD体験・車いす体験
10/20(金)	筑摩児童センター	アイマスク体験
10/21(土)	南郷福祉ひろば	高齢者疑似体験
10/25(水)	山辺小3年生	高齢者疑似体験
11/1(水)	本郷小4年生	車いす体験
11/7(火)	島立児童センター	視覚障がい当事者の講和・アイマスク体験
11/7(月)	あがた児童センター	車いす体験
11/7(月)	明善中1年生	ボランティア学習
11/10(金)	山辺小3年生	車いす体験・アイマスク体験

実施日	実施先	内 容 等
11/14(火)	会田中1年生	車いす体験・アイマスク体験
11/14(火)	二子児童センター	アイマスク体験
11/15(水)	波田小1年生	アイマスク体験
11/24(金)	波田小4年生	視覚障がい当事者の講和・アイマスク体験
11/24(金)	寿放課後児童クラブ	アイマスク体験
11/29(水)	島立小3年生、4年生	車いす体験・アイマスク体験
12/12(火)	島立児童センター	アイマスク体験
12/12(火)	島立児童センター	アイマスク体験
12/13(水)	波田小2年生	アイマスク体験
12/19(火)	島立小3年生	車いす体験
12/19(火)	明善中3年生	車いす体験・アイマスク体験
1/11(木)	市役所 公民館主事会	車いす体験・アイマスク体験
2/21(水)	波田小3年生	アイマスク体験
2/28(水)	松島中1年生	車いす体験・アイマスク体験
3/6(水)	今井児童センター	車いす体験・アイマスク体験
3/20(水)	今井児童センター	アイマスク体験・災害講座

児童センター・放課後児童クラブ利用状況一覧表

(単位：人)

館名	つどいの広場		児童センター・放課後児童クラブ					児童合計 (つどい幼児を含む)	その他 (つどい除く)	総合計	
			一般利用								留守登録 (小学生)
	保護者	幼児	幼児	小学生	中学生	高校生					
令和5年度	あがた児童センター	2,586	2,834	137	1,177	170	323	29,125	33,766	517	36,869
	島内児童センター	—	—	110	503	102	0	32,552	33,267	514	33,781
	芳川児童センター	4,962	5,340	3	49	1	7	27,958	33,358	15	38,335
	南部児童センター	1,812	2,049	36	542	14	3	5,345	7,989	313	10,114
	菅野児童センター	596	617	39	214	23	0	19,851	20,744	54	21,394
	島立児童センター	1,390	1,670	33	340	10	11	17,315	19,379	48	20,817
	寿児童センター	2,353	2,367	55	6,363	3	2	—	8,790	105	11,248
	寿放課後児童クラブ	—	—	0	0	—	—	25,728	25,728	103	25,831
	二子児童センター	1,025	1,328	25	1,288	10	2	7,532	10,185	43	11,253
	鎌田児童センター	2,129	2,171	28	318	8	0	34,235	36,760	67	38,956
	山辺児童センター	1,747	1,770	179	3,052	74	2	—	5,077	1,855	8,679
	山辺放課後児童クラブ	—	—	—	—	—	—	28,772	28,772	0	28,772
	浅間児童センター	1,867	1,971	21	1,057	0	0	16,758	19,807	285	21,959
	今井児童センター	683	980	102	158	0	5	13,300	14,545	342	15,570
	田川児童センター	1,316	1,465	68	551	27	4	11,977	14,092	516	15,924
	高宮児童センター	1,685	1,953	8	56	4	0	11,866	13,887	10	15,582
	梓川児童センター	1,039	1,120	60	551	55	26	33,088	34,900	192	36,131
	並柳児童センター	—	—	30	484	30	8	10,618	11,170	315	11,485
	筑摩児童センター	—	—	47	188	43	1	13,947	14,226	545	14,771
	波田児童センター	—	—	86	271	12	0	43,419	43,788	696	44,484
四賀支所(つどい)	377	405	—	—	—	—	—	405	—	782	
合計	25,567	28,040	1,067	17,162	586	394	383,386	430,635	6,535	462,737	
令和4年度	25,252	29,883	843	11,798	624	450	318,453	362,051	4,688	391,991	
令和3年度	27,080	31,085	555	9,911	667	320	334,542	377,080	4,181	408,341	

令和5年度 地区生活支援員活動状況（各地区の課題と取組み）

地区	課題	取組み・アプローチ等
第一	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場、生きがいづくり ・健康づくりと介護予防 ・お役立ち情報等の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・てまりカフェ開催（関係職員と相談体制構築） ・駅前会館、蔵シック館等活用（百歳体操） ・「もしもの時のお役立ち講座」開催
第二	<ul style="list-style-type: none"> ・地区北部エリアの通いの場 ・今後の町会等の在り方（存続） 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張サロン映画会の開催 ・5年先を見据えたアンケートの実施
第三	<ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の参加者固定化 ・居場所づくり ・移動、買い物の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に集える場の開催 ・タクシー利用での移動支援の検討 ・移動販売車の紹介、情報提供
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・周困との関わりの希薄化 ・移動の問題（通いの場） 	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場に継続して来ていただくための手紙やチラシを用いての声かけ ・タクシーを利用した移動支援の検討
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場の参加者減少・固定化 ・周困との関わりの希薄化、見守り体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択できる通いの場の充実（初心者麻雀教室、室内ペタンククラブ等） ・町会単位より更に小さいサロン活動の増加検討
城北	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足、情報共有不足 ・高齢者の地域包括ケア ・地区防災の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ニーズグラフ化、新たな町会カルテ作成 ・協議体と連携し訪問診療の勉強会、講演会開催 ・ささえあいマップ作成支援
城東	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場への移動困難 ・高齢者等の困りごと対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉送迎タクシーの立上げ、利用促進 ・地区独自の支え合いの仕組みづくり（R6年度）
白板	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の閉鎖感、認知症・障がいへの理解 ・数年後の移動手段の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・Café 凸凹の開催（認知症・障がい理解啓発、当事者との交流） ・町会に合った移動手段の把握、協議
田川	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事の声が挙がりづらい ・マンション等住居者との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者困りごとアンケート実施 → 支援計画 ・マンション等への情報提供（地域包括と連携）
庄内	<ul style="list-style-type: none"> ・町会ごとの福祉の格差 ・男性の地域参加 ・子ども支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館出張サロン ・メンズサロンの企画・実施（R6年度） ・なみカフェ運営支援（継続）
鎌田	<ul style="list-style-type: none"> ・より身近な場所での通いの場 ・見守り、支え合いの仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館を活用し通いの場づくり（百歳体操） ・オレンジカフェかまだの運営協力
松南	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅があり障がい者、生活保護受給者の割合が多い ・地区・町会活動への関心希薄 	<ul style="list-style-type: none"> ・各町会単位で「えんがわサロン」開催 ・地区支えあい講座開催
島内	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備 ・地域包括ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災モデル事業を通じたネットワーク化・チーム化 ・通いの場のネットワークから協議体発足
中山	<ul style="list-style-type: none"> ・「助け合おうぜ中山」の充実 ・通いの場、認知症への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・「助け合おうぜ中山」への理解・協力の周知 ・カラオケ会の開催（認知症の方参加）

地区	課 題	取組み・アプローチ等
島立	<ul style="list-style-type: none"> ・現役世代の地域参加啓発 ・移動の問題 ・協議体の未設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・繋がりを作るための支え合いマップ作成 ・福祉と健康を語る集い → 移動手段をテーマ ・町会組織、地区社協への働きかけ
新村	<ul style="list-style-type: none"> ・住民相互の助け合いの仕組み ・高齢者のフレイル予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新の里お助け隊」立上げ、運営支援 ・百歳体操等のグループ立上げ支援（R6年度）
和田	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する啓発 ・担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ささえあいマップ等の推進、防災関連の勉強会 ・互助の意識向上を図る住民との話し合い、既存組織の役員の見直し
神林	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所づくり（町内公民館活用） ・買い物弱者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張サロンin町内公民館、ポイントアップカフェ等 ・上記通いの場等での移動販売の活用（食料、衣料、介護用具等）
笹賀	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の買い物高齢者 ・移動の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の活用 ・100円パスの活用促進（バスで食事と買い物）
芳川	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な居場所づくり ・男性が参加できる通いの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用したサロン（畑仕事）の開催 → 男性の参加増、大学生も参加し世代間交流
寿	<ul style="list-style-type: none"> ・ことぶきサポート継続支援（担い手・財源） ・交通弱者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・雪かき支援の専属登録と財源確保（文化祭出店） ・のるーと体験会開催 ・マルシェ開催（福祉ひろばと共催）
寿台	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の問題 ・つむぎちゃんサポートの充実 ・通いの場の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・のるーとの説明と利用のための補助 ・地区住民の得意分野の把握、利用ニーズの把握 ・マルシェ、居酒屋よりましよ、街角ランチかたらい
岡田	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等地域での助け合い ・移動の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかだお気軽お助け隊」の立上げ（R6年度） ・移動支援学習会の開催
入山辺	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の問題（地理的要因） ・日中独居やひきこもり高齢者とそういった方の受け皿 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の活用 ・公共バス利用を含めた移動システムの構築検討 ・民生委員と協力し地区マップ作成（高齢者情報）
里山辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ささえあいの仕組みづくり ・コロナ以降の住民の関わり希薄 ・災害時の仕組み、防災意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さと通信」等でつむぎちゃんサポート周知・拡大 ・つながろう会（協議体）でカフェ開催 ・防災活動グループの立上げ支援
今井	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による日常生活支援 ・若年層の悩み共有、支え手養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎちゃんサポートの利用促進 ・ささえあいマップ作成推進 ・託児ボランティア立上げ（R6年度）
内田	<ul style="list-style-type: none"> ・移動、買い物の支援 ・雪かき問題 ・多世代交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・のるーとについてアンケート実施、利用促進 ・高齢者の雪かきについての聞き取り調査実施 ・多世代参加型の防災イベント開催（R6年度）
本郷	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業の継続（ボランティア、信大生の協力） ・隣近所の繋がり希薄化 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホサロン、eスポーツ世代間交流会開催 → 障がい者施設との関わり検討（R6年度） ・小地域で顔の見える関係 → マップ作成（R6年度）

松原	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による地区の在り方、行事内容の見直し ・高齢者の生活支援体制整備（通いの場、移動問題、見守り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対象アンケートの実施 ・既存の通いの場を活用した認知症カフェの検討 ・のるーとの利用促進（周知活動） ・ささえあいマップ作成 → 避難訓練（R6年度）
四賀	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の問題 ・8050問題 ・担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用したお出かけ支援実施 ・通いの場等で住民への聞き取り調査
安曇	<ul style="list-style-type: none"> ・移動、買い物の問題 ・認知症への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・100円バス券PR（コンパクトな時刻表作成）、社協移送サービス事業の紹介 ・認知症講座開催（包括・保健師と協力）
奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動と食事 ・ひきこもり高齢者 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協移送サービス、配食サービスで対応（配食はボランティアが協力し見守りを兼ねる） ・介護予防教室、地区社協の居場所づくり支援
梓川	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合い（高齢者の生活の不安） ・コロナ以降の通いの場 ・移動の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の困り事調査（中学生が協力） ・「みんなのえんがわ」事業立上げ・運営支援 ・オンデマンドバス利用の紹介
波田	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握（助けてと言える環境） ・担い手の発掘 ・世代間交流（地域力弱体化傾向） 	<ul style="list-style-type: none"> ・波田くらしのささえあい情報冊子の周知 ・サポーター養成講座への参加呼びかけ ・波田小、梓川高校等との世代間交流事業実施

令和5年度 日常生活自立支援事業実績報告書

令和6年3月31日

基幹的社協名	松本市 社会福祉協議会				
市町村数	基幹的社協 1市 管内町村 3村 (麻績村、生坂村、筑北村)		生活支援員数 (3月末現在)	3名(内、活動者数 3名)	
新規相談件数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他 (対象外)	合計
	19件	16件	41件	0件	76件
契約	本年度契約数	10名		事業開始からの 契約件数	459名
解約	本年度解約数	15名		事業開始からの 解約件数	317名
実利用者数	132名(内、生活保護利用者 59名、管内町村利用者 2名)				
延べ支援回数	3,295回				

〔法人後見等受任状況〕

受任件数 (累計)	対 象 者																									
	類 型			障 害 種 別				市 村 別								申 立 人						合 計				
	1 後見	2 保佐	3 補助	1 認知症	2 知的障害	3 精神障害	4 その他	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 その他	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所(職権)	5 成年後見支援センター	6 専門職後見人					
	合 計			合 計				合 計								合 計										
年度当初	197	164	30	3	197	109	31	34	23	197	127	46	0	5	12	2	1	4	197	115	68	5	4	2	3	197
4月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
5月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
8月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
1月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	203	170	30	3	203	110	31	35	27	203	133	46	0	5	12	2	1	4	203	121	68	5	4	2	3	203

〔法人後見等支援状況〕

支 援 状 況	支 援 状 況																		
	後 見			保 佐					補 助					合 計					
	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護	4 打合せ	5 その他	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護	4 打合せ	5 その他	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護		4 打合せ	5 その他			
	合 計			合 計					合 計										
4月	17	300	272	3	48	640	14	105	72	0	20	211	1	5	8	0	1	15	866
5月	15	234	267	4	52	572	12	91	100	3	16	222	1	4	1	0	1	7	801
6月	20	335	313	6	51	725	9	95	62	2	22	190	1	10	2	0	1	14	929
7月	21	266	235	23	76	621	11	69	55	2	2	139	2	8	1	0	0	11	771
8月	21	292	190	5	85	593	12	100	68	1	7	188	1	6	1	0	1	9	790
9月	18	235	211	4	68	536	11	114	111	0	12	248	1	6	2	0	0	9	793
10月	16	268	205	3	92	584	13	94	73	2	6	188	1	7	6	0	0	14	786
11月	15	264	147	0	154	580	10	90	85	3	1	189	1	6	1	0	0	8	777
12月	13	264	150	5	95	527	11	115	50	3	9	188	1	15	1	0	0	17	732
1月	16	282	155	7	71	531	8	90	57	1	1	157	1	3	3	0	0	7	695
2月	19	332	204	6	100	661	11	107	63	0	5	186	2	6	4	0	0	12	859
3月	17	258	197	2	81	555	16	100	60	2	11	189	1	3	1	0	0	5	749
合計	208	3330	2546	68	973	7125	138	1170	856	19	112	2295	14	79	31	0	4	128	9548

〔会議等出席状況〕

対 応 内 容	市 村 別										合 計			
	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 構成市村全体向け	9 その他					
	1 会議・打合せ	2 研修・講演会参加	3 主催・講師	4 その他(視察対応等)										
	合 計													
4月	13	0	2	0	15	1	3	0	0	0	0	5	6	15
5月	10	0	0	0	10	3	0	0	0	0	0	7	0	10
6月	2	6	3	0	11	8	0	0	0	0	0	0	3	11
7月	2	2	16	0	20	3	0	0	0	0	0	7	10	20
8月	5	5	8	1	19	7	4	0	0	0	0	8	0	19
9月	2	3	7	0	12	3	2	0	0	0	0	0	7	12
10月	3	1	7	0	11	5	0	0	0	1	0	0	5	11
11月	9	10	5	0	24	4	3	0	0	0	0	12	5	24
12月	2	3	3	0	8	0	3	0	0	0	0	0	5	8
1月	6	7	0	2	15	1	6	1	0	0	1	6	0	15
2月	1	0	12	2	15	0	0	0	1	0	1	0	13	15
3月	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	6
合計	61	37	63	5	166	35	21	1	1	1	1	45	60	166

〔終了件数〕

件数 (累計)	理 由																													
	類 型			障 害 種 別				市 村 別								申 立 人						理 由			合 計					
	1 後見	2 保佐	3 補助	1 認知症	2 知的障害	3 精神障害	4 その他	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 その他	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所	5 後見センター	6 専門職	1 死亡	2 辞任	3 類型変更						
	合 計			合 計				合 計								合 計						合 計								
年度当初	124	109	13	2	124	86	13	13	12	124	84	28	0	4	6	1	1	0	124	73	42	4	3	0	2	124	94	28	2	124
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5月	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	2	2	0	0	2	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	3	3	0	0	3	3	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	3	2	1	0	3	
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1月	3	3	0	0	3	2	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	
2月	2	2	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	2	
3月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
合計	137	121	14	2	137	95	14	13	15	137	94	30	0	4	7	1	1	0	137	82	46	4	3	0	2	137	106	29	2	137

〔現在受任件数〕

66	49	16	1	66	15	17	22	12	66	39	16	0	1	5	1	0	4	66	39	22	1	1	2	1	66
----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---	----

令和5年度 成年後見支援センターかけはし 実績報告書 3

令和6年3月31日 現在

〔市民後見人受任状況〕 〔()内の数字は複数での件数〕

受任件数 (累計)	対 象 者																													
	類 型			障 害 種 別				市 村 別							申 立 人															
	1 後見	2 保佐	3 補助	1 認知症	2 精神的障害	3 知的障害	4 その他	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所(職権)	5 成年後見支援センター	6 専門職後見人										
年度当初	17 (2)	17 (2)	0	0	17 (2)	15 (2)	1	1	0	0	17 (2)	12 (1)	3	0	0	2	0	0	0	0	17 (2)	12 (1)	4	0	0	0	0	1	17 (2)	
4月					0																									0
5月					0																									0
6月					0																									0
7月					0																									0
8月					0																									0
9月					0																									0
10月					0																									0
11月					0																									0
12月					0																									0
1月					0																									0
2月					0																									0
3月					0																									0
合計	17	17	0	0	17	15	1	1	0	0	17	12	3	0	0	2	0	0	0	0	17	12	4	0	0	0	0	1	17	

〔市民後見人支援状況〕

	市民後見人支援状況			合計
	1 定期報告	2 相談	3 その他	
4月	6	1	3	10
5月	3	1	6	10
6月	1	1	3	5
7月	7	1	14	22
8月	3	0	4	7
9月	1	2	2	5
10月	5	1	5	11
11月	2	0	3	5
12月	1	0	2	3
1月	5	2	4	11
2月	0	0	4	4
3月	2	0	3	5
合計	36	9	53	98

〔市民後見人終了件数〕

件数 (累計)	類 型			障 害 種 別				市 村 別							申 立 人						理 由										
	1 後見	2 保佐	3 補助	1 認知症	2 精神的障害	3 知的障害	4 その他	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所	5 後見センター	6 専門職	1 死亡	2 辞任	3 類型変更								
年度当初	9	9	0	0	9	8	0	1	0	9	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	6	2	0	0	0	1	9	8	1	0	9
4月					0																										0
5月					0																										0
6月					0																										0
7月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
8月					0																										0
9月					0																										0
10月					0																										0
11月					0																										0
12月					0																										0
1月					0																										0
2月					0																										0
3月					0																										0
合計	10	10	0	0	10	9	0	1	0	10	7	2	0	0	1	0	0	0	0	10	7	2	0	0	0	1	10	9	1	0	10

〔市民後見人現在受任件数〕

	7	7	0	0	7	6	1	0	0	7	5	1	0	0	1	0	0	0	0	7	5	2	0	0	0	0	0	0	7
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---